SONY

DVD Architect™ Studio

クイック スタート ガイド

改訂日：2010 年 1 月 14 日

このクイック スタート ガイドでは、DVD Architec™ Studio ソフトウェアの概要について説明します。ソフトウェアの詳しい使用方法については、オンライン ヘルプを参照してください。オンライン ヘルプを表示するには、［ヘルプ］メニューの［目次と索引］を選択するか、F1 キーを押します。

インストール後に初めて DVD Architect Studio ソフトウェアを起動すると、登録ウィザードが表示されます。このウィザードを使用すると、ソフトウェアを Sony Creative Software Inc. にオンラインで簡単に登録できます。または、*https://www.sonycreativesoftware.com/reg/software* でいつでもオンライン登録できます。

製品を登録すると、DVD Architect Studio の登録ユーザだけを対象としたテクニカル サポートへのアクセス、製品のアップデートの通知、および特典を受けることができます。

登録サポート

登録に関するサポートは、オンライン（*http://www.sonycreativesoftware.com/chat*）またはファックス（米国：1-608-250-1745）をご利用ください。

カスタマー サービス / セールス

カスタマー サービス オプションの詳細については、*http://www.sonycreativesoftware.com/support/custserv.asp* をご覧ください。電話によるサポートをご希望の場合は、通常の営業時間内に次の電話番号までご連絡ください。

電話 / ファックス	国
(800) 577-6642（フリーダイヤル）	米国、カナダ、バージン諸島
(608) 204-7703	その他の各国
(608) 250-1745（ファックス）	すべての国

テクニカル サポート

テクニカル サポート オプションの詳細については、*http://www.sonycreativesoftware.com/support/default.asp* の一覧をご覧ください。電話でのサポート オプションを聞くには、(608) 256-5555 までお電話ください（北米のみ）。

DVD Architect Studio ソフトウェア使用上のお客様の権利

DVD Architect Stuido ソフトウェアは、Sony Creative Software Inc. との間で締結したソフトウェア使用許諾契約書の条項に基づいてお客様にライセンス許諾されます。

お客様のプライバシーについて

Sony Creative Software Inc. は、お客様のプライバシーを尊重し、お客様による本ソフトウェアの使用を通じてお客様が提供する個人情報の保護に努めます。お客様による本ソフトウェアの使用は、ソフトウェア プライバシー ポリシーに準拠します。記載されている条項は、ソフトウェアの登録時に収集される情報に関するお客様の権利に関わるものですので、内容をよくお読みください。ソフトウェア プライバシー ポリシーの全文は、*http://www.sonycreativesoftware.com/corporate/privacy.asp* に掲載されています。

ソフトウェアの適切な使用

DVD Architect Studio ソフトウェアは、著作物の違法な複製および共有などの違法行為または著作権侵害行為を目的としておらず、またかかる目的への使用は禁止されています。DVD Architect Studio ソフトウェアのかかる目的への使用は、著作権に関する米国連邦法および国際法に違反するものであり、エンド ユーザ ライセンス契約書の条項に違反しています。かかる行為は、法律により罰せられることがあります。また、ソフトウェア使用許諾契約で定められている措置に違反します。

法定通知

ACID、ACIDized、ACIDplanet.com、ACIDplanet、ACIDplanet のロゴ、ACID XMC、Artist Integrated、Artist Integrated のロゴ、Beatmapper、Cinescore、CD Architect、DVD Architect、Jam Trax、Perfect Clarity Audio、Photo Go、Sound Forge、Super Duper Music Looper、Transparent Technology、Vegas、Vision Series、および Visual Creation Studio は、米国およびその他の国における Sony Creative Software Inc. の登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、米国および他国における所有者の商標または登録商標です。

Apple Macintosh Audio Interchange File Format（AIFF）ファイル形式

Apple® Macintosh® Audio Interchange™ File Format (AIFF) は、米国およびその他の国における Apple, Inc. の商標です。

Apple QuickTime

Apple® QuickTime® アプリケーションは、米国およびその他の国における Apple, Inc. の商標です。

Dolby、Dolby Digital AC-3、および AAC エンコーディング

この製品に含まれるプログラムの一部は、国際および米国の著作権法により、未発表の著作物として保護されています。これらの著作権および所有権は Dolby Laboratories に帰属します。これらの複製または公開、あるいは派生物の製作は、全部または一部を問わず、Dolby Laboratories による明示的な許可がない限り禁止されています。Copyright 1992 - 2008 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Dolby Digital 5.1 Creator のテクノロジは、商用または放送配布用のコンテンツの作成や Dolby の商標またはロゴを表示するコンテンツで使用するようには意図されていません。商用配布のコンテンツでは、公認の Dolby Digital Professional Encoder のみを使用でき、Dolby Digital の商標とロゴを表示できます。

Dolby®、ダブル D 記号、AC-3®、および Dolby Digital® は、Dolby Laboratories の登録商標です。AAC™ は Dolby Laboratories の商標です。

Macromedia Flash

Macromedia および Flash は、米国およびその他の国における Macromedia, Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft DirectX プログラミング インターフェイス

一部では Microsoft® DirectX® テクノロジを利用しています。Copyright © 1999 - 2004 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft Windows Media

一部では Microsoft Windows Media® テクノロジを利用しています。Copyright © 1999 - 2007 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PNG ファイル形式

Copyright © 2007. World Wide Web Consortium (Massachusetts Institute of Technology, European Research Consortium for Informatics and Mathematics, Keio University). All rights reserved. このソフトウェアは、W3C ソフトウェア ライセンスの下で、有用であることを願って配布されています。ただし、商品性または特定目的への適合性の黙示の保証を含め、一切の保証はありません。
http://www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-software-20021231

Targa ファイル フォーマット

Targa™ ファイル フォーマットは、Pinnacle Systems, Inc. の商標です。

Tagged Image File Format (TIFF)。

Adobe Tagged Image™ File Format は、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。All rights reserved.

Thomson Fraunhofer MP3

MPEG レイヤー 3 オーディオ コーディング テクノロジは、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンス許諾されています。

この製品の提供により、この製品で作成したコンテンツを営利放送システム（地上波、衛星、ケーブル、その他の放送チャンネル）、ストリーミング アプリケーション（インターネット、イントラネット、その他のネットワーク）、その他の配信システム（有料オーディオまたはオーディオ オンデマンド アプリケーション、その他類似システム）、または物理メディア（CD、デジタル汎用ディスク、半導体チップ、ハードディスク ドライブ、メモリーカードなど）によって配布するライセンスが許諾されることも、何らかの権利が暗示されることもありません。
当該目的で使用する場合は、個々にライセンスが必要になります。詳しくは、*http://mp3licensing.com* を参照してください。

Sony Creative Software Inc.
1617 Sherman Avenue
Madison, WI 53704
USA

本書に記載されている情報は、予告なしに変更される場合があり、Sony Creative Software Inc. の保証または取り組みを表明するものではありません。本マニュアルの内容に関するすべての更新情報および追加情報は、Sony Creative Software Inc. の Web サイト（*http://www.sonycreativesoftware.com*）に掲載されます。本ソフトウェアは、ソフトウェア使用許諾契約書とソフトウェア プライバシー ポリシーの条項に従って提供されるものであり、使用および複製はかかる契約に従って実行するものとします。ソフトウェア使用許諾契約書に明記されている場合を除き、本ソフトウェアをコピーまたは配布することは一切禁じられています。本書のいかなる部分も、形式または目的を問わず、Sony Creative Software Inc. の書面による同意なしに複製または転送することは禁じられています。

Copyright © 2010. Sony Creative Software Inc.

Program Copyright © 2010. Sony Creative Software Inc. All rights reserved.

目次

はじめに 5
DVD Architect Studio ソフトウェアにようこそ 5
動作環境 5
DVD Architect Studio ソフトウェアのインストール 5
オンライン ヘルプの使用方法 6
オンライン ヘルプ 6
操作手順チュートリアル 6
Web 上のヘルプ 6
DVD Architect Studio のワークスペースについて 7
メイン ウィンドウ 7
メイン ウィンドウのコンポーネント 7
ツールバー 8
［プロジェクト概要］ウィンドウ（Ctrl+Alt+1） 8
ワークスペース（Alt+0） 9
編集ツールバー（Alt+1） 9
テキスト バー（Alt+2） 9
ウィンドウ ドッキング エリア（F11） 10
［エクスプローラ］ウィンドウ（［Alt］+［3］） 10
［テーマ］ウィンドウ（［Alt］+［4］） 10
［ボタン］ウィンドウ（Alt+5） 11
［背景］ウィンドウ（［Alt］+［6］） 11
［コンピレーション］ウィンドウ (Alt+7) 11
［プロパティ］ウィンドウ（［Alt］+［8］） 12
［タイムライン］ウィンドウ（Alt+9） 13
［プレイリスト］ウィンドウ (Ctrl+Alt+2) 13
概要 15
DVD Architect Studio ソフトウェア用のファイルの準備 15
新規プロジェクトの開始 16
既存のプロジェクトを開く 16
メディア ファイルの選択 17
メディア ファイルのプレビュー 17
プロジェクトへのファイルの追加 17
ディスク スタート アイテムの設定 17
イントロダクション メディアの設定 17
プロジェクト プロパティの設定 18
プロジェクトの最適化 18
プロジェクトの保存 19
メニュー付きプロジェクトの作成 21
メニューの作成 21
サブメニューの追加 21
ページの挿入 21
ページの追加 21
ページの削除 21
ページの順序の変更 22

メニュー ページ プロパティの編集 ... 22
タイトルの追加 ... 22
画像コンピレーションの挿入 ... 22
ミュージック／ビデオ コンピレーションの挿入 ... 22
本編のみのムービー タイトルの挿入 ... 22
グラフィックの操作 ... 22
グラフィックの挿入 ... 22
グラフィック プロパティの編集 ... 23
テキストの挿入と編集 ... 23
メニューまたはページへのテキストの挿入 ... 23
メニュータイトルのテキスト オブジェクトの設定 ... 23
テキストの書式設定 ... 23
テキストの編集 ... 23
テキストの移動 ... 23
ボタンの挿入 ... 24
カラー セット の使用 ... 24
カラー セットの編集 ... 24
カラー セットの適用 ... 24
オブジェクトの編集 ... 25
オブジェクトのサイズの変更 ... 25
選択したオブジェクトの高さと幅を揃える ... 25
メディア プロパティの表示と編集 ... 25
オブジェクトの移動および整列 ... 25
オブジェクトの位置の変更 ... 25
メニュー内のオブジェクトの整列 ... 26
オブジェクトの中央揃え ... 26
オブジェクト間隔の調整 ... 26
オブジェクトの削除 ... 26
スナップの有効化 ... 26
グリッドへのスナップ ... 27
他のオブジェクトへのスナップ ... 27
セーフ エリアへのスナップ ... 27
ボタン プロパティ ... 27
属性のコピーと貼り付け ... 27
ナビゲーション ツール ... 28
テーマの操作 ... 28
テーマの適用 ... 28
テーマの選択 ... 29
テーマの削除 ... 29
ミュージック／ビデオ コンピレーションの作成 ... 31
メニューへのミュージック／ビデオ コンピレーションの追加 ... 31
オーディオまたはビデオの追加 ... 32
オーディオ ファイルの置換 ... 32

画像の追加と編集 32
画像の挿入 32
画像の置換 33
画像のストレッチ（拡大縮小）設定 33
画像の回転 33
テキストの追加と編集 33
テキストの追加 33
テキストの書式設定 33
テキストの編集 34
テキストの移動 34
テキストの削除 34
ミュージック／ビデオ コンピレーションのプロパティ 34
画像コンピレーションの作成 35
メニューへの画像コンピレーションの追加 35
画像の追加と編集 35
画像の挿入 35
画像の置換 36
画像のストレッチ (拡大縮小) 設定 36
画像の回転 36
表示時間の設定 36
テキストの追加と編集 36
テキストの追加 36
テキストの書式設定 37
テキストの編集 37
テキストの移動 37
テキストの削除 37
画像コンピレーション プロパティ 37
プレイリストの作成 39
メニューへのプレイリストの追加 39
プレイリストの追加（リンクなし） 39
プレイリストへのタイトルの追加 40
プレイリストからのタイトルの削除 40
プレイリストでのタイトルの再整列 40
プレイリスト名の変更 40
プレイリスト プロパティ 40
本編のみのディスクまたはタイトルの作成 41
メニューへのムービー タイトルの追加 41
イン ポイント／アウト ポイントの設定 41
シーン／チャプター マーカーの操作 42
シーン／チャプター マーカーの挿入 42
シーン／チャプター マーカー名の変更 42
シーン／チャプター マーカーの再配置 42
シーン／チャプター マーカーの削除 42
シーン／チャプター マーカーのロード 42
シーン／チャプター マーカーの保存 42

ビデオ ファイルまたはオーディオ ファイルの変更 42
プロジェクトのプレビュー 43
プレビュー ウィンドウ 43
プロジェクトのプレビュー 43
プロジェクトの準備と書き込み 45
DVD プロジェクトの準備と書き込み 45
プロジェクトの準備 45
準備したプロジェクトの書き込み 46
Blu-ray Disc の準備と書き込み 48
Blu-ray Disc プロジェクトの準備 48
Blu-ray Disc プロジェクトの書き込み 49
キーワード i

第 1 章 はじめに

DVD Architect Studio ソフトウェアにようこそ

DVD Architect™ Studio ソフトウェアには、コンピュータ上でプロフェッショナルな DVD および Blu-ray Disc™ を作成して書き込むために必要な機能がすべて揃っています。このソフトウェアをお使いのコンピュータにインストールするだけで、画像のスライドショー、本編のみのディスク、ミュージック／ビデオ コンピレーション、メニュー付きディスクなどを作成することができます。

動作環境

- Microsoft® Windows® XP（サービス パック 3 以上）、または Windows Vista®（サービス パック 2 以上）、または Windows 7
- 1 GHz 以上のプロセッサ
- 250 MB 以上のハードディスク空き容量 (プログラムのインストール用)
- 512 MB 以上の RAM
- Windows 互換サウンド カード
- サポートされている DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、BD-R、または BD-RE ドライブ
- Microsoft DirectX® 9.0c 以降
- Microsoft .NET Framework 3.0（アプリケーション ディスクに収録されています）
- Apple® QuickTime® 7.1.6 以降

注：*ソフトウェアを有効にするには、登録情報を Sony Creative Software Inc. に送信する必要があります。*

DVD Architect Studio ソフトウェアのインストール

1. DVD Architect Studio アプリケーション ディスクをドライブに挿入します。セットアップ画面が表示されます（DVD-ROM ドライブの自動再生機能が有効になっている場合）。

   DVD-ROM 自動再生機能が有効になっていない場合は、**［スタート］**ボタンをクリックして、**［ファイル名を指定して実行］**をクリックします。［ファイル名を指定して実行］ダイアログ ボックスで、DVD-ROM ドライブのドライブ文字に続けて**「:\setup.exe」**と入力します。**［OK］**をクリックしてインストールを開始します。
2. **［インストール］**をクリックします。インストール処理が開始されます。
3. 画面の指示に従い、必要に応じて情報を入力します。
4. 最後の画面で、**［完了］**をクリックしてインストールを完了します。

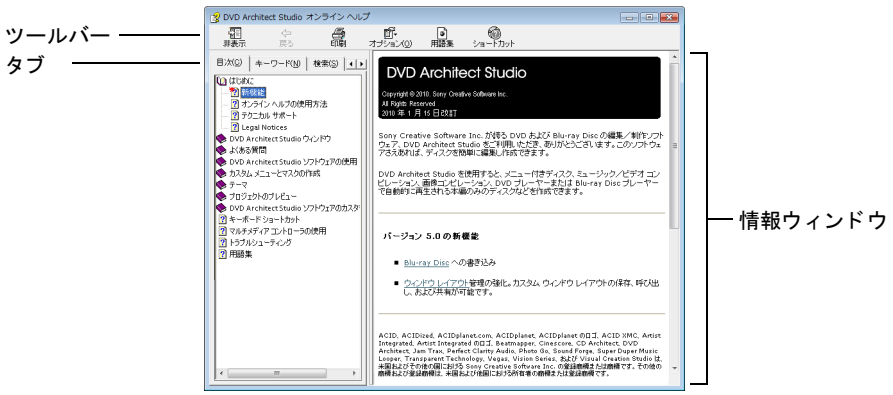
オンライン ヘルプの使用方法

DVD Architect Studio ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプを参照してください。このアプリケーションには、次の 2 種類のヘルプが用意されています。

- オンライン ヘルプ
- 操作手順チュートリアルソウサテジュンチュートリアル

オンライン ヘルプ

オンライン ヘルプにアクセスするには、**［ヘルプ］**メニューの**［目次と索引］**を選択するか、［F1］キーを押します。



次の表で、オンライン ヘルプ ウィンドウの 4 つのタブについて説明します。

タブ	説明
目次	ヘルプ トピックの一覧が表示されます。閉じた本のアイコン（）をクリックしてページを開き、参照するトピックのページ アイコン（）をクリックします。
キーワード	参照可能なヘルプ トピックのキーワードの一覧が表示されます。スクロール バーを使用してキーワードの一覧をスクロールするか、**［キーワードを入力してください］**ボックスに語句を入力して関連するトピックをすばやく見つけることができます。トピックを選択して**［表示］**ボタンをクリックします。
検索	キーワードを入力すると、そのキーワードを含むオンライン ヘルプ内のトピックがすべて表示されます。**［探したい語句を入力してください］**ボックスにキーワードを入力し、**［検索開始］**ボタンをクリックします。一覧からトピックを選択して、**［表示］**ボタンをクリックします。
お気に入り	頻繁にアクセスするトピックをフォルダに分類して保存しておくことができます。トピックをお気に入りに追加するには、**［お気に入り］**タブで**［追加］**ボタンをクリックします。

操作手順チュートリアル

ソフトウェアに含まれているインタラクティブな操作手順チュートリアルを使用することで、DVD Architect Studio ソフトウェアのさまざまな機能の使い方を学ぶことができます。

デフォルトでは、操作手順チュートリアルはアプリケーションの起動時に表示されます。ただし、**［ヘルプ］**メニューの**［操作手順］**を選択することで、いつでもチュートリアルにアクセスできます。

ヒント：*操作手順チュートリアルの自動表示を無効にするには、チュートリアル ウィンドウの下部にある***［起動時に表示する］***チェックボックスをオフにします。*

Web 上のヘルプ

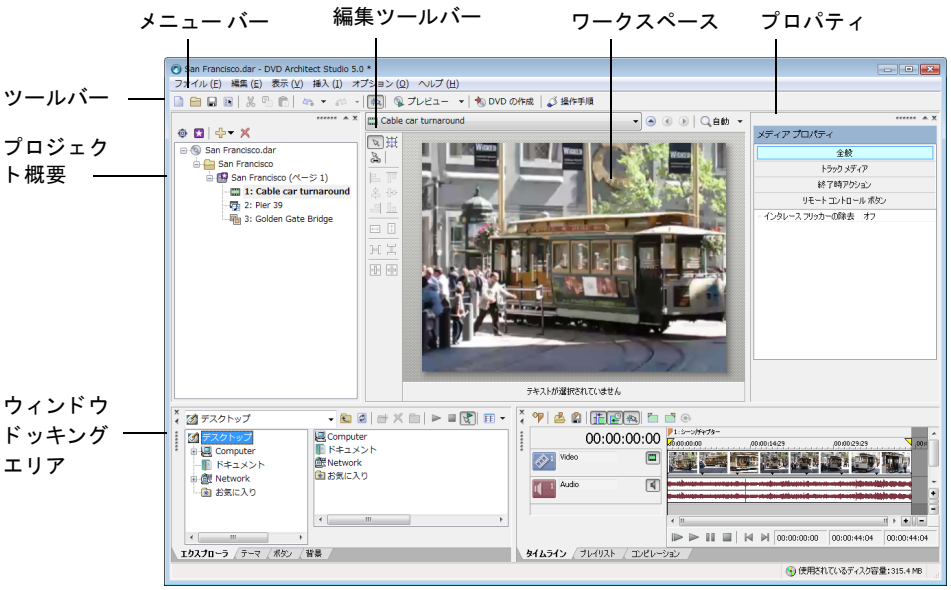
その他のヘルプや情報が必要な場合は、Sony Creative Software Inc. の Web サイトを参照してください。**［ヘルプ］**メニューの**［Sony の Web サイト］**を選択し、サブメニューで表示する項目を選択します。Web ブラウザが起動して、Sony Web サイトの該当するページが表示されます。

第 2 章 DVD Architect Studio のワークスペースについて

DVD Architect™ Studio ソフトウェアは、プロフェッショナルな DVD または Blu-ray Disc™ を簡単に作成できるように設計されています。編集操作、コマンド、およびショートカット キーの多くは、その他の一般的なソフトウェア アプリケーションや他の Sony Creative Software Inc. アプリケーションと同じです

メイン ウィンドウ

アプリケーションを起動すると、メイン ウィンドウが表示されます。



メイン ウィンドウのコンポーネント

作業エリアは、以下に示す 4 つの主な領域で構成されています。

コンポーネント	説明
［プロジェクト概要］ウィンドウ	プロジェクトを配置して、大きい画像で表示することができます。
ワークスペース	メニューやページを編集します。
［プロパティ］ウィンドウ	プロジェクトのメディアとオブジェクトのプロパティを編集します。
ウィンドウ ドッキング エリア	メディア、テーマ、ボタン、および背景を検索し、プロジェクトのタイトルのタイムライン編集を行います。

ツールバー

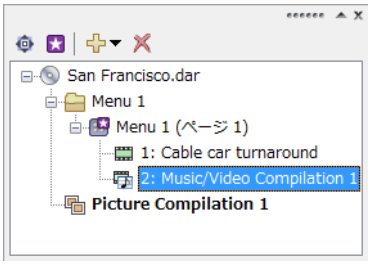
メイン ツールバーからは、頻繁に使用する機能に簡単にアクセスできます。表示するボタンを指定するには、［**オプション**］メニューの［**ツールバーのカスタマイズ**］を選択します。メイン ツールバーの表示を切り替えるには、［**表示**］メニューの［**ツールバー**］を選択します。

新規プロジェクト：新規プロジェクトを作成します。	**取り消し**：最後に実行したコマンドを元に戻します。
プロジェクトを開く：既存のプロジェクトを開きます。	**やり直し**：［取り消し］コマンドの処理を元に戻します。
プロジェクトの保存：現在のプロジェクトを保存します。	**スナップの有効化**：グリッド線へのスナップを有効にします。
プロパティ：プロジェクトのプロパティを開きます。	**プレビュー**：［プレビュー］ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
切り取り：選択したイベントまたは時間範囲を切り取ります。	**DVD の作成**：DVD の作成ウィザードを開きます。
コピー：選択したイベントまたは時間範囲をコピーします。	**Blu-ray Disc の作成**：Blu-ray ディスクの作成ウィザードを開きます。
貼り付け：クリップボードの内容をプロジェクトに貼り付けます。	**操作手順**：操作手順を有効にします。

［プロジェクト概要］ウィンドウ（Ctrl+Alt+1）

［プロジェクト概要］ウィンドウでは、プロジェクトのメニューやタイトルを多面的に表示します。このウィンドウを使用して、プロジェクトのメニューやタイトルを配置したり、タイトルを追加または削除することができます。

ウィンドウの表示を切り替えるには、［**表示**］メニューの［**プロジェクト概要**］を選択します。



終了時のアクションの表示の切り替え：終了時のアクションを表示または非表示にします。	**オブジェクトの挿入**：［オブジェクトの挿入］ドロップダウン リストを表示または非表示にします。
ディスク開始の設定：選択したメニューまたはタイトルをディスク スタート アイテムとして設定します。	**オブジェクトの削除**：選択したタイトルまたはメニューを削除します。

ワークスペース（Alt+0）

ワークスペースは DVD Architect Studio のウィンドウの一部で、ここでプロジェクトの設計を行います。ワークスペースには、現在選択されているメニューまたはオブジェクトが表示されます。

入力フォーカスをワークスペースに設定するには、**［表示］**メニューの**［ワークスペースにフォーカス］**を選択します。

編集ツールバー（Alt+1）

編集ツールバーでは、ワークスペースで選択したオブジェクトを編集できます。ワークスペースのツールバーの表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの**［編集ツールバー］**を選択します。

選択ツール：オブジェクトを選択または移動します。	**下揃え**：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの下端に揃えて横に整列します。
サイズ変更ツール：オブジェクトを選択してサイズを変更します。	**同じ幅にする**：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトと同じ幅にします。
ナビゲーション ツール：DVD または Blu-ray Disc プレーヤーのリモート コントロールの上、下、左、右の各ボタンを使用したときに選択されるボタンを確認または編集します。	**同じ高さにする**：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトと同じ高さにします。
左揃え：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの左端に揃えて縦に整列します。	**左右の間隔**：選択したオブジェクトを左右の間隔が等しくなるように調整します。
上揃え：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの上端に揃えて横に整列します。	**上下の間隔**：選択したオブジェクトを上下の間隔が等しくなるように調整します。
水平中央揃え：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの中央に揃えて横に整列します。	**水平中央**：選択したすべてのオブジェクトを画面の水平方向の中央に配置します。
垂直中央揃え：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの中央に揃えて縦に整列します。	**垂直中央**：選択したすべてのオブジェクトを画面の垂直方向の中央に配置します。
右揃え：選択したすべてのオブジェクトを、フォーカスされているオブジェクトの右端に揃えて縦に整列します。	

テキスト バー（Alt+2）

テキスト バーでは、ワークスペースで選択したテキストのさまざまなプロパティを編集できます。テキスト バーの表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの**［テキスト バー］**を選択します。

フォント：テキストの表示に使用するフォントを選択できます。	**右揃え**：テキストをテキスト ボックスの右端に揃えます。
フォント サイズ：テキストの表示に使用するフォントのサイズ（ポイント単位）を選択します。	**上揃え**：テキストをテキスト ボックスの上端に揃えます。
太字：テキストを太字に設定します。	**垂直方向の中央揃え**：テキストをテキスト ボックスの垂直方向の中央に揃えます。
斜体：テキストを斜体に設定します。	**下揃え**：テキストをテキスト ボックスの下端に揃えます。
影付き：テキストの後ろに追加する影の位置、色、透明度を選択します。	**フォントの前景色**：テキストの前景色を設定できます。
左揃え：テキストをテキスト ボックスの左端に揃えます。	**テキストの編集**：選択したテキスト ボックスを編集可能な状態にします。
中央揃え：テキストをテキスト ボックスの中央に揃えます。	

ウィンドウ ドッキング エリア（F11）

ウィンドウを DVD Architect Studio ウィンドウの端にドッキング（アンカー）して、頻繁に使用するウィンドウを表示しておくことができます。プロジェクトの作業中は、操作しやすいようにこのエリアを非表示にすることもできます。

いくつかのウィンドウを画面の同じエリアに固定して、ウィンドウを重ねることができます。ウィンドウのタブをクリックすると、そのウィンドウが一番手前に表示されます。

［エクスプローラ］ウィンドウ（［Alt］＋［3］）

［エクスプローラ］ウィンドウは、Windows® エクスプローラに似ています。**［エクスプローラ］**ウィンドウでは、メディア ファイルを選択して、ワークスペースや［プロジェクト概要］ウィンドウにドラッグすることができます。［エクスプローラ］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［エクスプローラ］**を選択します。

［プレビューの開始］ボタン ( ) と **［自動プレビュー］**ボタン ( ) を使用すると、プロジェクトに追加する前にファイルをプレビューできます。**［自動プレビュー］**ボタンを選択している場合は、［エクスプローラ］でクリックしたビデオまたは画像ファイルが、自動的にワークスペースに表示されます。

［テーマ］ウィンドウ（［Alt］＋［4］）

［テーマ］ウィンドウは、メニュー付きのプロジェクトにテーマを適用する場合に使用します。**［テーマ］**ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［テーマ］**を選択します。

テーマとは、メニュー ページに適用されるスタイル シートのことです。各テーマには、背景画像、ボタンの種類、レイアウトのスタイル、ボタンの動作、テキストのスタイル、および埋め込みナビゲーションの動作が含まれます。

テーマは、作業中に特定のメニュー ページに適用することができます。メニューに新しいページを追加すると、同じテーマがデフォルトとして使用されます。

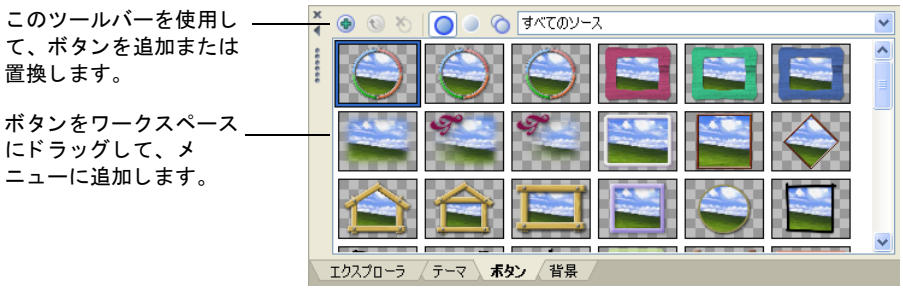
DVD Architect Studio ソフトウェアにはすぐに使用できるテーマがいくつか用意されていますが、独自のテーマを作成してプロジェクトに追加することもできます。*詳しくは、28 ページの「テーマの適用」を参照してください。*

テーマの適用：作業中に特定のメニュー ページにテーマを適用することができます。	**テーマの削除**：作成したカスタム テーマを削除できます。

［ボタン］ウィンドウ（Alt+5）

［ボタン］ウィンドウには、インストールしたテーマや DVD Architect Studio で用意されているボタンが表示されます。［ボタン］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの**［ボタン］**を選択します。

［ボタン］ウィンドウを使用して、新しいボタンをメニューに追加したり、既存のボタンを置き換えたり、ボタンからフレームを削除することができます。



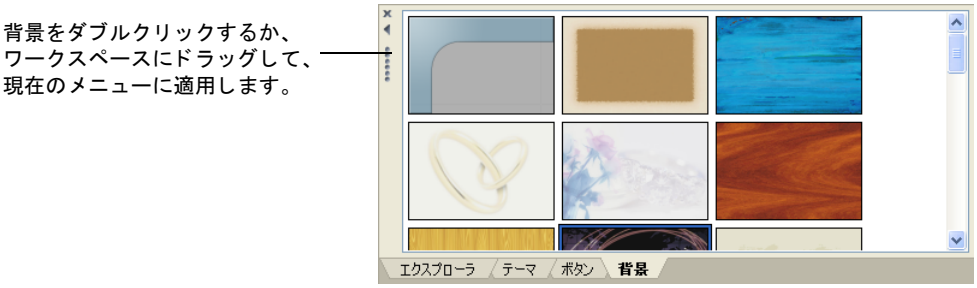
	ボタンの挿入：選択したボタン（リンクされていない）を現在のメニューに追加します。
	ボタンの置換：ワークスペースで選択したボタンを［ボタン］ウィンドウで選択したボタンと置換します。
	縁取りの削除：ワークスペースで選択したボタンから縁取りを削除します。

	縁取りのあるボタンの表示：縁取りのあるボタンのみを［ボタン］ウィンドウに表示します。
	縁取りのないボタンの表示：縁取りのないボタンのみを［ボタン］ウィンドウに表示します。
	すべてのボタンを表示：縁取りのあるボタンとないボタンの両方を［ボタン］ウィンドウに表示します。

［背景］ウィンドウ（［Alt］＋［6］）

［背景］ウィンドウには、インストールしたテーマや DVD Architect Studio で用意されている背景が表示されます。［背景］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［背景］**を選択します。

［背景］ウィンドウを使用して、メニュー ページに背景を追加したり、既存の背景を変更することができます。



［コンピレーション］ウィンドウ (Alt+7)

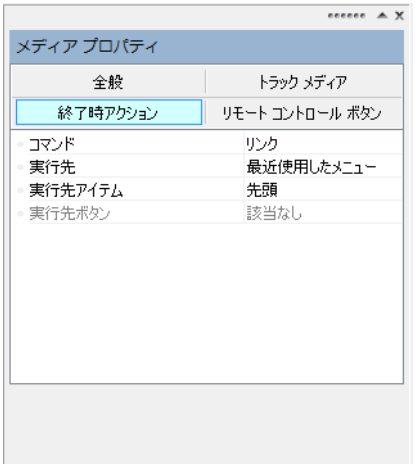
［コンピレーション］ウィンドウには、ミュージック／ビデオ コンピレーションや画像コンピレーション内のアイテムの一覧が表示されます。［コンピレーション］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの**［コンピレーション］**を選択します。

このウィンドウを使用して、コンピレーション内の各アイテムの配置、画像のストレッチ (拡大縮小)、回転、または画像の表示時間を設定を行うことができます。

アイテムの挿入：画像を画像コンピレーションに追加したり、オーディオやビデオをミュージック／ビデオ コンピレーションに追加します。	**左回りに回転**：画像を左回りに回転します。
アイテムの削除：画像コンピレーションから画像を削除したり、ミュージック／ビデオ コンピレーションからオーディオを削除します。	**時計回りに回転**：画像を時計回りに回転します。
コンピレーションをオーディオにフィット：すべてのスライドの長さがオーディオ ファイルの長さに合うように自動的に調整します。	**サムネイルのサイズ**：サムネイル画像のサイズを小、中、大のいずれかで表示します。

［プロパティ］ウィンドウ（[Alt] + [8]）

［プロパティ］ウィンドウには、プロジェクトのほとんどすべての詳細を編集可能なコントロールが用意されています。［プロパティ］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの**［プロパティ］**を選択します。

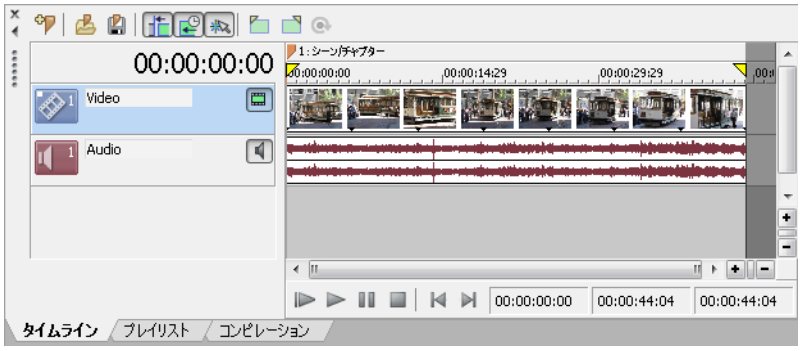


［プロパティ］ウィンドウの内容は、その時点での選択に応じて異なります。例えば、ワークスペースでメニューを開いている場合は、メニュー ページのプロパティとボタンのプロパティを編集することができます。また、［タイムライン］ウィンドウでタイトルを開いている場合は、メディア ファイルに関する情報を編集できます。

プロパティ	説明
グラフィック	メニューまたはコンピレーションの画像エレメントの位置、サイズ、および外観を編集します。
ボタン	選択したメニュー ボタンの動作と外観を編集します。
メニュー ページ	選択したページの長さ、背景メディア、終了時のアクション、およびリモート コントロール ボタンの動作を調整します。
メディア	選択したメディア ファイルの終了時のアクションおよびリモート コントロール ボタンの動作を調整します。
画像コンピレーション	選択した画像コンピレーションの終了時のアクションおよびリモート コントロール ボタンの動作を調整します。
ミュージック / ビデオ コンピレーション	選択したミュージック／ビデオ コンピレーションの終了時のアクションおよびリモート コントロール ボタンの動作を調整します。
プレイリスト	プレイリストの各アイテムの設定を調整したり、選択したプレイリストの終了時のアクションを設定します。

［タイムライン］ウィンドウ（Alt+9）

［タイムライン］ウィンドウでは、ビデオ、画像コンピレーション、ミュージック／ビデオ コンピレーション、またはメニューの背景メディアが時系列で表示されます。［タイムライン］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［タイムライン］**を選択します。



タイムラインには、メインのオーディオ トラックとビデオ トラック、チャプター マーカー、および DVD Architect Studio のワークスペース内でメディアをプレビューするために使用可能なトランスポート コントロールが表示されます。

シーン／チャプター マーカーの挿入：シーン／チャプター マーカーを追加します。	**タイムラインのスナップの有効化**：タイムラインのスナップを有効にします。
マーカーのロード：マーカーをファイルから読み込みます。	**イン ポイントの設定**：タイトルのイン ポイントを現在のカーソル位置に設定します。
マーカーの保存：マーカーをファイルに保存します。	**アウト ポイントの設定**：タイトルのアウト ポイントを現在のカーソル位置に設定します。
自動リップル：自動リップル モードを切り替えます。	**ループ ポイントの設定**：ループ再生を開始する位置を示すループ ポイントを設定します。
フレームにクオンタイズ：イベントとマーカーをフレームの境界に移動します。	

［プレイリスト］ウィンドウ (Ctrl+Alt+2)

プレイリストを使用して、ムービー、チャプター マーカー、ミュージック／ビデオ コンピレーション、または画像コンピレーションを連続して再生できます。プレイリストには、プロジェクトの一部であるタイトルのみを追加できます。各タイトルは最初から最後まで再生され、プレイリストの最後では、指定された終了時のアクションに応じた処理が行われます。［プレイリスト］ウィンドウの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［プレイリスト］**を選択します。

プレイリストの挿入：新しいプレイリストをプロジェクトに追加します。	現在のプレイリスト　ドロップダウン リストから表示するプレイリストを選択します。
プレイリストの削除：プロジェクトから現在のプレイリストを削除します。	プレイリスト アイテム リスト　プレイリスト内のタイトルの一覧を表示します。
プレイリスト アイテムの挿入：現在のプレイリストにタイトルを追加できる［タイトルの選択］ダイアログ ボックスを表示します。	

第 3 章 概要

この章では、DVD Architect™ Studio ソフトウェアを使用してプロジェクトを作成する前に理解しておく必要がある情報について説明します。

基本的な操作

DVD または Blu-ray Disc™ を作成するための基本的な操作は、作成するプロジェクトの種類にかかわらず、基本的には同じです。以下に示す手順の詳細については、次のセクションで説明します。

1. 新しいプロジェクトを開始して、作成するプロジェクトの種類（メニュー付き、ミュージック／ビデオコンピレーション、画像コンピレーション、または本編のみ）を指定します。
2. メディアを選択して、追加します。
3. プロジェクトをプレビューします。
4. プロジェクトを保存します。
5. プロジェクトを準備して書き込みます。

DVD Architect Studio ソフトウェア用のファイルの準備

プロジェクトの準備と書き込みを円滑に行うには、メディア ファイルを DVD Architect Studio プロジェクトに追加する前に、対応形式での保存を試みる必要があります。DVD Architect Studio ソフトウェアでは、さまざまなファイル形式がサポートされていますが、形式によっては、プロジェクトの準備処理中にトランスコードや再圧縮が必要になったり、準備処理にかかる時間が長くなったり、最終的な画質が低下したりする可能性があります。

注：

- *Vegas Movie Studio の AVC、MainConcept™ MPEG-2、AC-3、Wave ／ Wave64 エンコーダには、変更せずにそのまま使用すれば再圧縮不要なファイルを作成できるテンプレートが提供されています（ファイル サイズがディスクに収まるサイズより大きい場合を除く）。*
- *AC-3 オーディオは、DVD プロジェクトの場合にのみ利用できます。*

対応するメディアの表示について詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。DVD Architect Studio の **［ヘルプ］** *メニューの* **［目次と索引］** を選択します。

新規プロジェクトの開始

シンプルなプロジェクトでも、静止画、ビデオ、オーディオなどを含む複雑なプロジェクトでも作成することができます。これらのコンポーネントを編成することは、作成プロセスの重要な作業の 1 つです。DVD Architect ソフトウェアでは、プロジェクト ファイル (*.dar) によってこれらの要素を編成します。プロジェクト ファイルには、ソース ファイルの場所、挿入ポイント、チャプター、テキストなどに関する情報が保存されます。プロジェクト ファイルはマルチメディア ファイルではなく、編集作業の終了した最終作品を作成するために使用されます。

1. **［ファイル］**メニューの**［新規］**を選択します。［新規プロジェクト］ダイアログ ボックスが表示されます。
2. ［全般］タブで、作成するプロジェクトの種類を選択します。

プロジェクトの種類	説明
メニュー付き	再生時に、メニューが表示されるディスクを生成します。ユーザーはメニュー アイテムを参照して、再生する内容を選択することができます。どの種類のメディアを使用した場合でも、メニュー付きのディスクを作成できます。また、複数のメニューとタイトル（ミュージック／ビデオ コンピレーション、画像コンピレーション、ムービー）を追加することもできます。*詳しくは、21 ページの「メニュー付きプロジェクトの作成」を参照してください。*
ミュージック / ビデオ コンピレーション	オーディオ ファイルのコンピレーションを含むディスクを生成します。各オーディオ ファイルに静止画とビデオのどちらを関連付けるかを選択することができます。ミュージック／ビデオ コンピレーションにはメニューは付きませんが、ユーザはリモート コントロールを使用して前後のオーディオ トラックにスキップすることができます。*詳しくは、31 ページの「ミュージック／ビデオ コンピレーションの作成」を参照してください。*
画像コンピレーション	静止画のスライド ショーを表示するディスクを生成します。画像の表示時に再生するバックグラウンド オーディオ トラックを 1 つ選択することができます。画像コンピレーションにはメニューは付きませんが、ユーザーはリモート コントロールを使用して前後の画像にスキップすることができます。*詳しくは、35 ページの「画像コンピレーションの作成」を参照してください。*
ムービー本編のみ	ムービー本編のみを含むディスクを生成します。本編のみの DVD にはメニューやその他のメディアは含まれません (必要な場合は、イントロダクション ビデオ / オーディオのみ追加可能です)。*詳しくは、41 ページの「本編のみのディスクまたはタイトルの作成」を参照してください。*

3. **［ディスク形式］**ドロップダウン リストから適切なディスク設定を選択します。この設定では、DVD または Blu-ray Disc のどちらを作成するかを示します。
4. **［プロジェクトのビデオ形式］**ドロップダウン リストから適切なビデオ設定を選択します。この形式は、再圧縮が必要なビデオや、プロジェクト内のすべてのメニューに使用されます。
5. **［プロジェクトのオーディオ形式］**ドロップダウン リストから適切なオーディオ設定を選択します。この形式は、再圧縮が必要なオーディオ ファイルに使用されます。
6. これらの設定をプロジェクトで通常使用するように設定するには、**［この設定ですべての新規プロジェクトを開始］**チェック ボックスをオンにします。

> **注：***［新規プロジェクト］ダイアログ ボックスで選択したプロジェクト設定は、プロジェクトの作業中にいつでも変更できますが、作成時に選択したプロジェクトの種類によっては変更できない場合もあります。プロジェクト設定を変更するには、***［ファイル］***メニューの***［プロパティ］***を選択します。*

7. **［サマリー］**タブをクリックし、必要に応じてフィールドに情報を入力します。この情報はプロジェクトとともに保存されます。

既存のプロジェクトを開く

1. **［ファイル］**メニューの**［開く］**を選択します。［開く］ダイアログ ボックスが表示されます。
2. 開くプロジェクト ファイル（.dar）を選択します。
3. **［開く］**ボタンをクリックします。

> **ヒント：***プロジェクトを開くときに見つからないメディア ファイルがある場合は、そのメディアをオフライン状態にして、プロジェクトの編集を続行することができます。後でソース メディア ファイルを復元すると、プロジェクトは正常に開きます。*

メディア ファイルの選択

［エクスプローラ］ウィンドウを使用して、メディア ファイルを検索したり、プロジェクトに追加することができます。

メディア ファイルのプレビュー

メディア ファイルをプロジェクトに追加する前に、［エクスプローラ］ウィンドウでメディア ファイルをプレビューすることができます。この処理を行うには、ファイルをクリックして選択し、**［プレビューの開始］**ボタン（）をクリックします。プレビューを停止するには、**［プレビューの終了］**ボタン（）をクリックします。

［自動プレビュー］ボタン（）をクリックすると、選択したファイルの自動プレビューが有効になります。このオプションを有効にすると、［エクスプローラ］ウィンドウで選択したファイルはすべて自動的にプレビューされます。プレビューを停止するには、**［プレビューの終了］**ボタンをクリックします。自動プレビューを解除するに、**［自動プレビュー］**ボタンをもう一度クリックします。

プロジェクトへのファイルの追加

使用するファイルが見つかったら、次のいずれかの方法でプロジェクトに追加します。

- ファイルをダブルクリックします。
- DVD Architect Studio のワークスペースにファイルをドラッグします。
- ［プロジェクト概要］ウィンドウのメニューにファイルをドラッグします。
- ［エクスプローラ］ウィンドウからプロジェクト概要ウィンドウのルート フォルダにファイルをドラッグします。ファイルをルート フォルダにドラッグすると、メニューにボタンが作成されずにメディアがプロジェクトに追加されます。

  追加されたこのメディアは関連付けられていないため、終了時アクションを実行するときのメニュー間のトランジション、ボタン アクションの実行先、またはリモート コントロールの［メニュー］ボタンとして使用できます。

注：*焼き付きの影響を受けやすいデバイス (リアプロジェクション テレビなど) を使用している場合、長時間スクリーン上に表示する必要のあるシーンに、静止テキストや明るい静止グラフィックを使用しないでください。*

ディスク スタート アイテムの設定

ディスク スタート アイテムとは、ディスクを DVD または Blue-ray Disc プレーヤーで再生したときに、デフォルトで再生されるアイテムのことです。例えば、メニュー付きプロジェクトの場合は通常、メイン メニューがスタート アイテムになります。

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウでオブジェクトを選択します。
2. **［ディスク スタート アイテムの設定］**ボタン（）をクリックします。スタート アイテムは、オブジェクトの場合は として表示され、メニューの場合は として表示されます。

イントロダクション メディアの設定

ディスク スタート アイテムとして使用するメディア ファイルは、**［イントロダクション メディアの挿入］**オプションを使用して選択します。

イントロダクション メディアは、ディスクの再生が始まる前に、著作権情報を追加したり、コーポレート ロゴを表示する場合に使用できます。

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウでオブジェクトを選択します。
2. **［オブジェクトの挿入］**ボタン（）の横にある下向き矢印をクリックし、メニューから**［イントロダクション メディア］**を選択します。イントロダクション メディアは、プロジェクト概要ウィンドウに として表示されます。

プロジェクト プロパティの設定

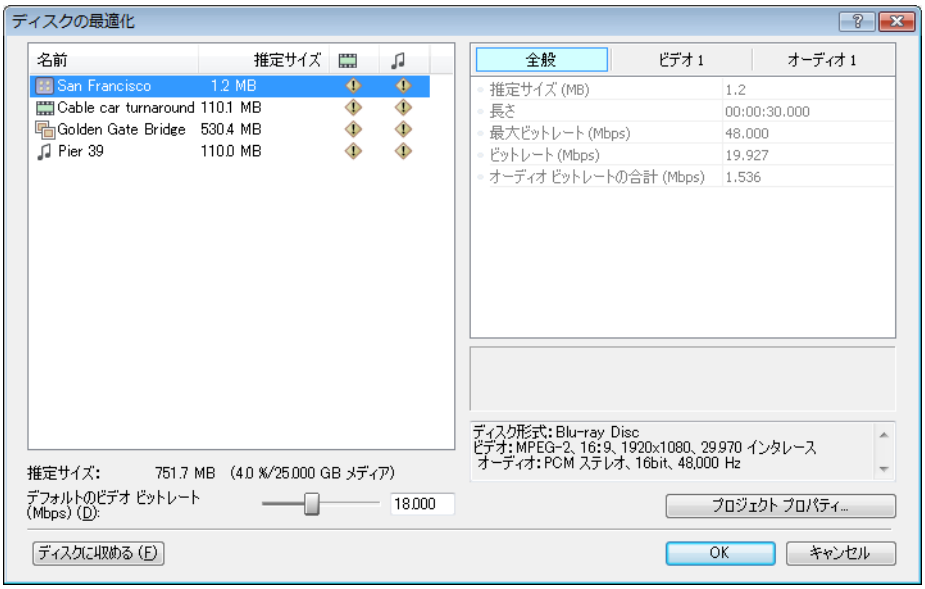
新しいプロジェクトを開始するときに、プロジェクトのさまざまなプロパティを選択します。但し、プロジェクトの作業中でも、**［ファイル］**メニューの**［プロパティ］**を選択すれば、必要に応じていつでもこれらのプロパティを表示したり変更したりすることができます。［プロパティ］タブと［サマリー］タブを含む［プロジェクト プロパティ］ダイアログ ボックスが表示されます。

これらの設定をプロジェクトで通常使用するように設定するには、ダイアログ ボックスの下部にある**［この設定ですべての新規プロジェクトを開始］**チェック ボックスをオンにします。

*プロジェクト プロパティ設定について詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。DVD Architect Studio の***［ヘルプ］***メニューの***［目次と索引］**を選択します。

プロジェクトの最適化

［ディスクの最適化］ダイアログ ボックスを表示するには、**［ファイル］**メニューの**［ディスクの最適化］**を選択します。このダイアログ ボックスを使用して書き込む前にプロジェクトを最適化することで、潜在的な問題の特定や解決を行ったり、特定の形式に強制的に再圧縮することができます。



［ディスクの最適化］ダイアログ ボックスでは、以下の処理を行うことができます。

- プロジェクトおよび各メディア ファイルの推定サイズを表示する。
- プロジェクトおよびファイル形式の設定を表示および変更する。
- 準備処理中に再圧縮が必要なメディア ファイルを確認する。
  - 緑色のチェックマーク（✓）は、ファイルが対応形式（再圧縮が不要）であることを示します。
  - 黄色の警告記号（⚠）は、再圧縮が必要なファイルであることを示します。
  - 緑色の警告記号（⚠）は、対応形式のファイルと、再圧縮が必要なファイルの両方が含まれていることを示します。
  - 赤色の警告記号（⚠）は、強制的に再圧縮するように指定されていることを示します。

最適なファイル形式の設定を確認するには、15 ページの「DVD Architect Studio ソフトウェア用のファイルの準備」を参照してください。

プロジェクトの保存

作品はプロジェクト ファイル（*.dar）として保存されます。プロジェクト ファイルは、レンダリングされたメディア ファイルではありません。

1. ［**ファイル**］メニューの［**保存**］を選択します。

> **注：***プロジェクトを初めて保存する場合は、［名前を付けて保存］ダイアログ ボックスが表示されます。それ以降に同じプロジェクトを保存する場合は、このダイアログ ボックスは表示されず、既存のファイル名のままプロジェクトが更新され、すべての変更が保存されます。*

2. プロジェクトの保存先となるドライブおよびフォルダを選択します。
3. ［**ファイル名**］ボックスにプロジェクトの名前を入力します。
4. ［**保存**］ボタンをクリックします。

第 4 章 メニュー付きプロジェクトの作成

DVD Architect™ Studio ソフトウェアを使用すると、シンプルなプロジェクトを作成することも、サブメニュー、ミュージック／ビデオ コンピレーション、画像コンピレーション、プレイリスト、ムービーへのリンクなどを含む複雑なメニュー付きプロジェクトを作成することもできます。サブメニューやメディア ファイルをメニューに追加すると、ボタンが現在のメニューに自動的に追加されます。追加されるボタンには、画像やテキスト リンクがあります。リモート コントロールを使用してメニューやタイトルを移動し、ディスクのコンテンツを表示したり、表示するコンテンツを選択できます。

テーマをメニューに適用して外観やレイアウトを統一したり、メニューやオブジェクトごとに外観をカスタマイズすることができます。*詳しくは、28 ページの「テーマの適用」を参照してください。*

メニューの作成

ディスクを DVD プレーヤーや Blu-ray Disc™ プレーヤーに挿入すると、メイン メニューが表示されます。メイン メニューには、サブメニューやタイトル（ミュージック／ビデオ コンピレーション、画像コンピレーション、またはメディア ファイル）へのリンクが含まれています。ソフトウェアを起動して、メニュー付きプロジェクトを選択すると、デフォルトのメイン メニュー ページが表示されます。既存の外観やレイアウトをそのまま使用してメイン メニューを配置できます。また、テーマを使用したり、独自の背景の画像／ビデオ、テキスト、およびオーディオを追加して、メイン メニューの外観を編集することもできます。準備が整ったら、次はサブメニューとメディアの追加を行います。

サブメニューの追加

プロジェクトにサブメニューを追加して、コンテンツを整理することができます。

1. 編集するメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［挿入］**メニューの**［サブメニュー］**を選択します。新しいメニューは現在のメニューの下に追加され、ボタンが現在のメニューにサブメニューへのリンクとして追加されます。

> **注：***ボタンを編集するには、そのボタンを選択し、［プロパティ］ウィンドウのボタン プロパティ ペインで変更を行います。詳しくは、27 ページの「ボタン プロパティ」を参照してください。*

3. プロジェクト概要ウィンドウのサブメニュー (またはワークスペースのサブメニューのボタン) をダブルクリックして、レイアウトの編集や、タイトル (ムービー、ミュージック コンピレーション、画像コンピレーションなど) またはプレイリストの追加を行います。

ページの挿入

ページの追加

1 つのメニューに収めきれない数のコンテンツがある場合は、メニューにページを追加できます。たとえば、必要に応じてメイン メニューを 2 ページにすることができます。

1. 編集するメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［挿入］**メニューの**［ページ］**を選択します。ページへのリンクとして矢印ボタンが現在のメニューに追加されます。
3. ［プロジェクト概要］ウィンドウのページ（またはワークスペースの矢印ボタン）をダブルクリックして、レイアウトの編集やメディアの追加を行います。

ページの削除

1. 編集するメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［編集］**メニューの**［ページの削除］**を選択します。

ページの順序の変更

1. 編集するメニューを、[プロジェクト概要] ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **[編集]** メニューの **[ページ順序]** を選択し、**[前面に移動]** または **[背面に移動]** を選択して、現在のメニューを前後に移動します。

メニュー ページ プロパティの編集

[プロパティ] ウィンドウのメニュー ページ プロパティ ペインを使用して、選択したページの長さ、背景メディア、終了時のアクション、およびリモート コントロール ボタンの動作を調整することができます。

[プロパティ] ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

タイトルの追加

メニューに表示されるボタンとグラフィックは「オブジェクト」と呼ばれます。グラフィックや静止テキストなどの一部のオブジェクトはデザイン要素として使用されますが、ボタンなどのその他のオブジェクトは操作用に使用されます。

- DVD プロジェクトでは、フルスクリーンの各メニューには最大 36 個のボタンを追加することができます。ワイドスクリーンの場合は最大 18 個です。
- Blu-ray Disc プロジェクトでは、各メニューに最大 255 個のボタンを追加することができます。

ビデオ、ミュージック／ビデオ コンピレーション、および画像コンピレーションなどのメディアは「タイトル」と呼ばれます。タイトルをプロジェクトに追加すると、メニューにオブジェクトが自動的に作成されます。

[ボタン プロパティ] コントロールを使用して、ボタンの設定を編集します。*詳しくは、27* ページの「*ボタン プロパティ*」を参照してください。

画像コンピレーションの挿入

画像コンピレーションをメニューまたはページに追加するには、**[挿入]** メニューの **[画像コンピレーション]** を選択します。画像コンピレーションについて詳しくは、*35* ページの「*画像コンピレーションの作成*」を参照してください。

ミュージック／ビデオ コンピレーションの挿入

ミュージック / ビデオ コンピレーションをメニューまたはページに追加するには、**[挿入]** メニューの **[ミュージック / ビデオ コンピレーション]** を選択します。ミュージック／ビデオ コンピレーションについて詳しくは、*31* ページの「*ミュージック／ビデオ コンピレーションの作成*」を参照してください。

本編のみのムービー タイトルの挿入

本編のみのムービー タイトルをメニューまたはページに追加するには、**[挿入]** メニューの **[メディア]** を選択します。ムービーの追加について詳しくは、*41* ページの「*本編のみのディスクまたはタイトルの作成*」を参照してください。

注：*本編のみのムービー タイトルを挿入してチャプター マーカーを追加すると、マーカーに基づいてシーン選択メニューが自動的に作成されます。*

グラフィックの操作

画像やビデオを、メニューまたはページのデザイン要素として追加することができます。ビデオをメニューに追加すると、ユーザーがメニューにアクセスしたときに自動的に再生が開始されるようにすることができます。

注：*グラフィックはデザイン要素としてのみ使用され、操作目的で使用することはできません。*

グラフィックの挿入

1. **[挿入]** メニューの **[グラフィック]** を選択します。[グラフィックの挿入] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. 使用するファイルを選択します。
3. **[OK]** をクリックします。画像またはビデオがメニューに追加されます。

グラフィック プロパティの編集

［プロパティ］ウィンドウのグラフィック プロパティ ペインを使用して、メニューまたはコンピレーションのグラフィック要素の位置、サイズ、および外観を調整することができます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

テキストの挿入と編集

メニューまたはページへのテキストの挿入

1. **［挿入］**メニューの**［テキスト］**を選択します。テキスト ボックスが現在のメニューまたはページに挿入されます。
2. テキストを入力します。
3. メニューまたはページ上でテキスト ボックスをドラッグして位置を決定します。

メニュータイトルのテキスト オブジェクトの設定

タイトル オブジェクトは、プロジェクト概要ウィンドウのメニュー名が変更されていなければ、そのメニューのタイトルとしても使用されます。［プロジェクト概要］ウィンドウでメニューの名前を変更した場合、タイトル オブジェクトを変更すると、テーマに使用するオブジェクトとして設定されますが、メニューの名前は変更されません。

メニューのタイトル オブジェクトとしてテキストを使用するには、テキスト オブジェクトを右クリックし、ショートカット メニューから **［タイトル オブジェクト］**を選択します。

テキストの書式設定

1. 選択ツール（ ）またはサイズ変更ツール（ ）を使用してテキスト ボックスを選択します。メニューの下のテキスト バーに、テキスト設定が表示されます。

> **ヒント：***テキスト バーの表示／非表示を切り替えるには、***［表示］***メニューの***［テキスト バー］***を選択します。*

2. ドロップダウン リストからフォントを選択して、テキストの書体を設定します。
3. ドロップダウン リストからフォントのサイズを選択します。テキストをテキスト ボックスのサイズに合うように自動的に調整するには、**［自動］**を選択します。
4. 必要に応じて**［太字］**（ ）、**［斜体］**（ ）、または**［影］**（ ）ボタンをクリックして、フォントの装飾のオン／オフを切り替えます。
5. 影を適用するには、**［影］**ボタン（ ）の横にある下矢印をクリックします。テキストの影の位置、色、または透明度を設定するためのポップアップ ウィンドウが表示されます。
6. 必要に応じてテキストの配置オプションを設定します。*詳しくは、**9* ページの「*テキスト バー（Alt+2）*」を参照してください。
7. テキストに赤、緑、青、およびアルファの各チャンネルを設定するためのカラー ピッカーを表示するには、選択した色見本ボタン（）の横にある下矢印をクリックします。

テキストの編集

1. 現在のメニュー内のテキスト ボックスを選択します。
2. **［編集］**メニューの**［テキストの編集］**を選択します（または［F2］キーを押します）。テキストが編集可能になります。
3. 必要に応じてテキストを編集します。
4. ［F2］キーを押して、テキストの変更を確定します。

テキストの移動

1. 選択ツール（ ）を使用して、テキスト ボックスを選択します。
2. テキスト ボックスをドラッグして、選択したテキストを移動します。

ボタンの挿入

ユーザはボタンを使用することによって、メニューやページを移動できます。ボタンは、メニューやページを作成すると自動的に作成されます。例えば、サブ メニューの追加時にメイン メニューが選択された場合は、新しいメニューにリンクされたボタンがメイン メニューに追加され、メイン メニューにリンクされたボタンが新しいメニューに追加されます。

デフォルトで作成されたボタンを削除した場合は、**［挿入］**メニューのコマンドを選択して新しいボタンを作成することができます。

コマンド	説明
［戻る］ボタン	メイン メニューに戻ります。
［次へ］ボタン	次のページに移動します。
［前へ］ボタン	前のページに移動します。
空のボタン	空のボタンをプレースホルダとして追加します。ボタンのプロパティは後で編集することができます。

注：*［戻るボタン］コマンド、［次へボタン］コマンド、および［前へボタン］コマンドは、移動先のメニューまたはページが存在する場合にのみ使用できます。*

［プロパティ］ウィンドウの［ボタン プロパティ］コントロールを使用して、ボタンの画像とそのボタンのリンクのプロパティを編集できます。*詳しくは、**27* ページの「*ボタン プロパティ*」を参照してください。

カラー セット の使用

DVD Architect Studio プロジェクトの各メニュー ページまたはタイトルには、それぞれ 4 種類の色から構成される最大 4 つのカスタム カラー セットを使用できます。カラー セットには、塗りつぶしカラー、アウトライン／背景カラー、アンチエイリアス カラー、および透過カラーが含まれます。異なるカラー セットを選択することによって、あるカラー セットで選択されているボタン、別のカラー セットで有効になっているボタンを示して、ボタンのハイライトを表示できます。ウィンドウが表示されていない場合は、**［表示］**メニューの**［プロパティ］**を選択し、**［カラー セット］**見出しの横にある**［表示］**（⊞）ボタンをクリックして、コントロールを表示します。

カラー セットの編集

1. グラフィック プロパティ、メニュー ページ プロパティ、ボタン プロパティ、メディアとイベント プロパティ、ミュージック／ビデオ コンピレーションのプロパティ、画像コンピレーション プロパティ、またはプレイリスト プロパティの各ペインで、**［カラー セット］**ボタンをクリックします。
2. 編集するカラー セットの横にある**［表示］**（⊞）ボタンをクリックします。
3. **［カラー セット X］**ドロップダウン リストから設定を選択して、カラー セットをプロジェクト全体に適用するか（**プロジェクト全体**）、現在選択しているメニューまたはタイトルのみに適用するか（**カスタム**）を指定できます。
4. **［モード］**ボックスを選択してから下矢印ボタン（▾）をクリックし、ドロップダウン リストからカラー セットの色を選択します。
5. 編集する色を選択します。
6. 選択した色見本の横にある下矢印をクリックすると、カラー ピッカーが表示され、選択した色を編集できます。**［色空間を変更］**（ ）ボタンをクリックすると、RGB と HSL のカラーモードを切り替えられます。

注：*カラー ピッカーの使用中に色再現域外の色を選択した場合は、警告（⚠）が表示されます。警告の下の色見本をクリックすると、色を修正できます。*

カラー セットの適用

カラー セットをボタンに適用するには、メニュー ページ プロパティ ペインの**［選択ボタンの色］**、**［有効ボタンの色］**、および**［無効ボタンの色］**の各ドロップダウン リストを使用します。

オブジェクトの編集

［プロパティ］ウィンドウを使用して、メニューのほとんどのアイテムの設定を調整できます。［プロパティ］ウィンドウを表示するには、**［表示］**メニューの**［プロパティ］**を選択します。

オブジェクトのサイズの変更

1. サイズ変更ツール（ ）を使用して、ボタン、グラフィック、またはテキスト ボックスを選択します。
2. ［プロパティ］ウィンドウの**［変形］**ボタンをクリックし、オブジェクトのハンドルをドラッグするか、**［X サイズ］**ボックスおよび**［Y サイズ］**ボックスに値を入力して、サイズを変更します。
3. 高さまたは幅を変更したときに画像がストレッチされないようにするには、**［アスペクト比を維持］**ボックスを選択して下矢印ボタン（ ）をクリックし、**［はい］**を選択します。

ヒント：*テキスト ボックスのサイズを変更して、テキストの長さをボックスに自動的に合わせるには、***［フォント サイズ］***ドロップダウン リストから***［自動］***を選択します。*

選択したオブジェクトの高さと幅を揃える

1. 調整するオブジェクトを選択します。複数のオブジェクトを選択するには、［Ctrl］キーまたは［Shift］キーを押しながらクリックします。
2. ［Ctrl］または［Shift］キーを押しながら、サイズをコピーするオブジェクトを選択します。
3. **［同じ幅にする］**ボタン（ ）または**［同じ高さにする］**ボタン（ ）をクリックします。選択したすべてのオブジェクトが、フォーカスされているオブジェクト（最後に選択したオブジェクト）と同じ幅または高さになるように調整されます。

注：*［プロパティ］ウィンドウの***［変形］***ページにある***［アスペクト比を維持］***が***［はい］***に設定されている場合は、オブジェクトのサイズを一方向のみに変更しようとしても、サイズは変更されません。これは、アスペクト比を維持したまま、画像のサイズを一方向のみに変更することはできないためです。***［アスペクト比を維持］***設定をオフにするか、オブジェクトのサイズを両方向に変更してください。*

メディア プロパティの表示と編集

［プロパティ］ウィンドウのメディア プロパティ ペインでは、選択したメディア ファイルの情報を表示できます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

オブジェクトの移動および整列

メニュー上にオブジェクトを手動または自動で移動、配置、整列するためのさまざまなオプションが用意されています。スナップ機能を使用すると、より正確にオブジェクトの移動や整列を行うことができます。スナップ機能を使用すると、より正確にオブジェクトの移動や整列を行うことができます。

オブジェクトの位置の変更

1. 選択ツール（ ）、サイズ変更ツール（ ）、またはナビゲーション ツール（ ）を使用して、ボタン、グラフィック、またはテキスト ボックスを選択します。
2. ［プロパティ］ウィンドウのメニュー ページ プロパティ ペインで、**［全般］**をクリックします。
3. ワークスペース内のオブジェクトをドラッグするか、**［X 位置］**ボックスおよび**［Y 位置］**ボックスに値を入力して、オブジェクトの中心点を設定します。

   X 軸および Y 軸は、プロジェクトのフレーム サイズに基づきます。たとえば、フレーム サイズが 720x480 の NTSC プロジェクトを作成している場合は、フレームの左上隅が（0,0）、右下隅が（720,480）になります。

ヒント：*［Shift］キーを押しながらドラッグすると、水平方向のスナップが無効になります。［Ctrl］キーを押しながらドラッグすると、垂直方向のスナップが無効になります。［Alt］キーを押しながらドラッグすると、水平または垂直いずれかの方向にのみ移動できます。*

メニュー内のオブジェクトの整列

1. 選択ツール（ ）、サイズ変更ツール（ ）、またはナビゲーション ツール（ ）を選択します。
2. 整列するオブジェクトを選択します。オブジェクトが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のオブジェクトを選択できます。
3. ［Ctrl］キーまたは［Shift］キーを押しながら、整列するオブジェクトをクリックします。
4. ワークスペースの左端にあるいずれかのボタンをクリックします。

ツール	名前	説明
	左揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの左端に揃えて整列します。
	水平中央揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの水平方向の中央に揃えて整列します。
	右揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの右端に揃えて整列します。
	上揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの上端に揃えて整列します。
	垂直中央揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの垂直方向の中央に揃えて整列します。
	下揃え	選択したすべてのオブジェクトを、最後に選択したオブジェクトの下端に揃えて整列します。

オブジェクトの中央揃え

1. 選択ツール（ ）、サイズ変更ツール（ ）、またはナビゲーション ツール（ ）を選択します。
2. 整列するオブジェクトを選択します。ファイルが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のファイルを選択できます。
3. ワークスペースの左端にあるいずれかのボタンをクリックします。
   - **［水平中央］**ボタン（ ）をクリックすると、選択したオブジェクトが画面の水平方向の中央に移動します。
   - **［垂直中央］**ボタン（ ）をクリックすると、選択したオブジェクトが画面の垂直方向の中央に移動します。

オブジェクト間隔の調整

1. 選択ツール（ ）、サイズ変更ツール（ ）、またはナビゲーション ツール（ ）を選択します。
2. 調整するオブジェクトを選択します。ファイルが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のファイルを選択できます。オブジェクトの垂直方向または水平方向の間隔を調整するには、少なくとも 3 つのオブジェクトを選択する必要があります。
3. ワークスペースの左端にあるいずれかのボタンをクリックします。
   - ［左右の間隔］ボタン（ ）をクリックすると、選択したオブジェクトの水平方向の間隔が等しくなるように調整されます。
   - ［上下の間隔］ボタン（ ）をクリックすると、選択したオブジェクトの垂直方向の間隔が等しくなるように調整されます。

オブジェクトの削除

1. 選択ツール（ ）、サイズ変更ツール（ ）、またはナビゲーション ツール（ ）を選択します。
2. 削除するオブジェクトを選択します。ファイルが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のファイルを選択できます。
3. **［編集］**メニューの**［削除］**を選択します。メニューおよびプロジェクトからオブジェクトが削除されます。

スナップの有効化

スナップ機能を使用するには、**［オプション］**メニューの**［スナップの有効化］**を選択します。スナップを有効にすると、以下のようにいくつかのオブジェクトをスナップできるようになります。

- ワークスペース内のグリッド
- 他のオブジェクトの境界
- タイトル セーフ エリアとアクション セーフ エリア

ヒント：*水平方向のスナップを一時的に無効にするには［Shift］キーを押したままにします。垂直方向のスナップを一時的に無効にするには［Ctrl］キーを押したままにします。*

グリッドへのスナップ

スナップを有効にした後に、**［オプション］**メニューの **［グリッドにスナップ］**を選択すると、ワークスペースのグリッドにオブジェクトをスナップできるようになります。グリッドの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［ワークスペース オーバーレイ］**を選択し、サブメニューで **［グリッドの表示］**を選択します。

注：*グリッドの色または間隔を変更するには、***［オプション］***メニューの***［グリッド設定］****を選択します。*

他のオブジェクトへのスナップ

スナップを有効にした後に、**［オプション］**メニューの **［オブジェクトにスナップ］**を選択すると、オブジェクトをメニューの他のオブジェクトにスナップできるようになります。

セーフ エリアへのスナップ

スナップを有効にした後に、**［オプション］**メニューの **［セーフ エリアにスナップ］**を選択すると、タイトル セーフ エリアまたはアクション セーフ エリアにオブジェクトをスナップできるようになります。

タイトル セーフ エリアとは、テレビ モニタ上でタイトルが常に表示されるエリアを示します。このエリアの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［ワークスペース オーバーレイ］**を選択し、サブメニューで **［タイトル セーフ エリアの表示］**を選択します。

アクション セーフ エリアとは、テレビ モニター上でモーションが常に表示されるエリアを示します。このエリアの表示／非表示を切り替えるには、**［表示］**メニューの **［ワークスペース オーバーレイ］**を選択し、サブメニューで **［アクション セーフ エリアの表示］**を選択します。

ボタン プロパティ

［プロパティ］ウィンドウのボタン プロパティ ペインでは、選択したボタンの外観、動作、およびナビゲーションを変更できます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

属性のコピーと貼り付け

属性の貼り付け機能によって、プロジェクトの設定を別のプロジェクトに簡単に適用できるようになりました。以下の属性の一部または全部を貼り付けることができます。

- ボタン フレーム
- テキスト プロパティ
- サイズ
- サイズと位置

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウのメニューをダブルクリック（またはワークスペースで移動）して、コピーするオブジェクトを含むメニューを開きます。
2. 選択ツール（）、サイズ変更ツール（）、またはナビゲーション ツール（）を使用してオブジェクトを選択します。
3. **［編集］**メニューの **［コピー］**を選択します。
4. ［プロジェクト概要］ウィンドウのメニューをダブルクリック（またはワークスペースで移動）して、編集するオブジェクトを含むメニューを開きます。
5. 選択ツール（）、サイズ変更ツール（）、またはナビゲーション ツール（）を使用して、ボタン、テキスト ボックス、またはグラフィックを選択します。
6. **［編集］**メニューの **［属性の貼り付け］**を選択し、サブメニューで以下のいずれかのアイテムを選択します。

コマンド	説明
ボタン フレーム	ボタンの縁取りと、選択したオブジェクトの関連マスクを、コピーしたボタンの属性で置換します。
テキスト プロパティ	選択したオブジェクトのテキストのプロパティを、コピーしたテキストの属性で置換します。 **注：***実際のテキストは置換されません。*

コマンド	説明
サイズ	選択したオブジェクトのサイズを、コピーしたオブジェクトのサイズで置換します。
サイズと位置	選択したオブジェクトのサイズと位置を、コピーしたオブジェクトのサイズと位置で置換します。
すべて	選択したオブジェクトのすべての属性を、コピーしたオブジェクトの属性で置換します。

ナビゲーション ツール

ナビゲーション コントロールは、リモート コントロールの上、下、左、右の各ボタンを使用したときに、どのボタンが選択されるようにするかを決定します。

1. 編集するメニューを、[プロジェクト概要] ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **[編集]** メニューの **[編集ツール]** を選択し、**[ナビゲーション ツール]**（）を選択します。
3. ワークスペースでボタンを選択します。現在のナビゲーションを示す矢印が表示されます。

注：*白い矢印は、自動リンクされたナビゲーションを表し、青い矢印は手動で設定されたリンクを表します。*

4. ナビゲーション アンカー（）をドラッグしてボタンのナビゲーションを編集します。

テーマの操作

テーマとは、メニュー ページに適用されるスタイル シートのことです。各テーマには、レイアウトのパラメータ（ボタンのサイズ、位置、スペースなど）、フォントとテキストのパラメータ、およびグラフィックとオーディオの情報など、メニューに関するすべての情報が含まれます。

テーマの適用

テーマは、プロジェクトの開始時にプロジェクト全体に適用したり、作業中に特定のメニュー ページだけに適用したりすることができます。テーマを選択して適用するには、ワークスペースの一番下に表示される **[テーマ]** ウィンドウを使用します。テーマをメニューに追加されるとすぐに、メニューのプロパティが、テーマで定義されている設定に変更されます。

注：*テーマの適用を取り消すには、***[取り消し]** *ボタン（）をクリックします。*

プロジェクトで使用できるテーマがいくつか用意されています。また、既存のテーマを編集して、独自のテーマを作成することもできます。

テーマの選択

1. 編集するメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［テーマ］**ウィンドウでテーマをダブルクリックして、選択したメニューに適用します

テーマの削除

1. ［テーマ］ウィンドウで、削除するテーマを選択します。
2. **［テーマの削除］**ボタン（ ）をクリックします。テーマの削除の確認を求める警告のダイアログ ボックスが表示されます。
3. **［はい］**ボタンをクリックして、続行します。

第 5 章 ミュージック／ビデオ コンピレーションの作成

1 つのミュージック／ビデオ コンピレーションを含む DVD Architect™ Studio プロジェクトを作成したり、既存のメニューにミュージック／ビデオ コンピレーションを追加することができます。

ミュージック／ビデオ コンピレーションにはオーディオまたはビデオ ファイルのリストが含まれます。ファイルの再生中にテキスト（曲のタイトルやキャプションなど）を表示したり、ミュージック コンピレーションについては、背景に表示するビデオまたは画像を選択したりすることが可能です。

ビデオ コンピレーションでは、順次再生するビデオ リストを作成します。このようなビデオのコンピレーションは、プレイリストと同じように動作しますが、1 つのビデオ タイトル セットとしてディスクに書き込まれます。多くの短いビデオで構成されるプロジェクトがある場合は、この方法を使用すると、レンダリングのやり直しやメディアの連結の手間を省くことができます。

ヒント：*コンピレーション アイテムのオーディオがビデオより長い場合は、最終フレームがオーディオの最後までフリーズされます。ビデオがインタレースの場合に、一部の DVD プレーヤーまたは Blu-ray Disc™ プレーヤーでこのフレームが正しく表示されません。この問題が発生しないようにするには、コンピレーションをプログレッシブ スキャンとして再圧縮します。*

*［ディスクの最適化］ダイアログ ボックスの［ビデオ］タブで、***［プログレッシブ］***ボックスをクリックし、ミュージック／ビデオ コンピレーションとして* **［はい］** *または* **［自動］** *を選択します。* **［はい］** *を選択すると、各コンピレーション アイテムは、別々のプログレッシブ スキャン タイトルとして再圧縮されます。* **［自動］** *を選択すると、各コンピレーション アイテムは、別々のタイトルとして再圧縮されてソース メディアの形式に対応します。オーディオがビデオより長い場合は、コンピレーション アイテムはプログレッシブ スキャン ビデオとして再圧縮され、最後のフレームが保持されたときの画質劣化がなくなります。*

注：*DVD ディスクの各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大 99 個です。Blu-ray Disc の各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大 255 個です。*

コンピレーションに、これらの制限を超える曲またはビデオが追加されている場合、プレーヤーの早送りボタンを使用すると、これらの曲やビデオに移動できます（前／次のチャプター ボタンを使用しても、DVD では最初の 99 曲またはビデオ内、Blu-ray Disc では最初の 255 曲またはビデオ内でしか移動できません）。

プロジェクトの開始とメディアの検索について詳しくは、15 ページの「概要」を参照してください。

メニューへのミュージック／ビデオ コンピレーションの追加

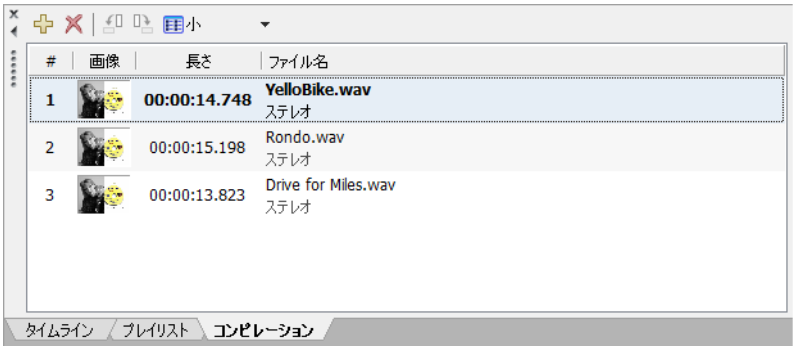
既存のメニュー付きプロジェクトのメニューにミュージック／ビデオ コンピレーションを追加する場合、手順は簡単です。

1. ミュージック／ビデオ コンピレーションにリンクするメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［挿入］**メニューの **［ミュージック／ビデオ コンピレーション］**を選択します。コンピレーションへのリンクとしてボタンがメニューに追加されます。
3. ミュージック／ビデオ コンピレーションのボタンをダブルクリックして、コンピレーションの配置を開始します。

オーディオまたはビデオの追加

以下のいずれかの操作を行って、オーディオまたはビデオをコンピレーションに追加します。

- ［エクスプローラ］ウィンドウを使用して、オーディオ ファイルまたはビデオ ファイルを探して選択し、［コンピレーション］ウィンドウにドラッグします。ファイルが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のファイルを選択できます。ファイルは、ドロップするたびにコンピレーション リストに追加されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウを使用して、オーディオ ファイルまたはビデオ ファイルを探します。ファイルをダブルクリックして、［コンピレーション］ウィンドウのリストの一番下に追加します。



注：*曲ごとにスライドに曲名を自動的に挿入する場合は、***［オプション］***メニューの***［トラック タイトルの自動挿入］***を選択します。各スライドに手動でテキストを追加することもできます。詳しくは、33 ページの「テキストの追加」を参照してください。*

オーディオ ファイルの置換

曲のオーディオを置換する方法はいくつかあります。

- ［タイムライン］ウィンドウまたは［コンピレーション］ウィンドウで曲を右クリックして、ショートカット メニューで**［オーディオの設定］**を選択します。［オーディオの設定］ダイアログ ボックスが表示されます。新しい曲を選択し、**［開く］**ボタンをクリックします。オーディオが新しいオーディオで置換されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウまたは Windows® エクスプローラから［コンピレーション］ウィンドウの既存の曲に、オーディオ ファイルをドラッグします。既存のファイルが新しいファイルで置換されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウまたは Windows のエクスプローラから［タイムライン］ウィンドウの曲の上に、オーディオ ファイルをドラッグします。

画像の追加と編集

画像の挿入

コンピレーション内の曲ごとに画像またはビデオを選択できます。選択された画像やビデオは、曲の再生中にスクリーンに表示されます。

注：*焼き付きの影響を受けやすいデバイス（リアプロジェクション テレビなど）を使用している場合、長時間スクリーン上に表示する必要のあるシーンに、静止テキストや明るい静止グラフィックを使用しないでください。*

画像またはビデオを曲に追加する方法はいくつかあります。

- 曲を選択します。［エクスプローラ］ウィンドウで画像をダブルクリックします。画像が選択した曲に追加されます。
- 曲を選択します。**［編集］**メニューの**［スライド ビデオ／画像］**を選択し、サブメニューで**［設定］**を選択します。［ビデオ／画像の設定］ダイアログ ボックスが表示されます。画像を選択し、**［開く］**ボタンをクリックします。画像またはビデオが曲に追加されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウで画像を選択し、曲にドラッグします。
- 曲を右クリックして、ショートカット メニューで**［ビデオ / 画像の設定］**を選択します。［ビデオ／画像の設定］ダイアログ ボックスが表示されます。画像を選択し、**［開く］**ボタンをクリックします。画像またはビデオが曲に追加されます。

画像の置換

1. 置換する画像を右クリックし、ショートカット メニューで **［ビデオ／画像の設定］**を選択します。［ビデオ／画像の設定］ダイアログ ボックスが表示されます。
2. 置換する画像を選択し、**［開く］**ボタンをクリックします。

画像のストレッチ（拡大縮小）設定

［コンピレーション］ウィンドウ下部のツールを使用して、曲の画像を回転したり、画像を拡大縮小するときに使用するストレッチの種類を設定することができます。

1. ［コンピレーション］ウィンドウで曲を選択します。
2. ミュージック／ビデオ コンピレーションのプロパティ ペインの **［スライド］**ボタンをクリックします。
3. **［ストレッチの種類］**をクリックしてから下矢印ボタン をクリックし、次のいずれかのストレッチの種類を選択します。
   - **レターボックス** - 画像はスケーリングされずに表示され、必要に応じて黒のレターボックス バーが、上下または左右に追加されます。
   - **ウィンドウに合わせてズーム** - 画像はスクリーンに合わせて拡大されます。
   - **ウィンドウに合わせてストレッチ** - 画像はスクリーンに合わせてストレッチされます。画像で歪みが発生する場合があります。

画像の回転

1. ［コンピレーション］ウィンドウで曲を選択します。
2. 画像を回転するには、**［反時計回りに回転］**または**［時計回りに回転］**ボタンをクリックします。

テキストの追加と編集

テキストの追加

各曲またはビデオの再生中に表示するテキストを追加できます。

> **注：***曲ごとに曲名を自動的に挿入する場合は、***［オプション］***メニューの***［トラック タイトルの自動挿入］**を選択します。*

1. ［コンピレーション］ウィンドウでアイテムを選択します。
2. **［挿入］**メニューの **［テキスト］**を選択します。テキスト ボックスがワークスペースに追加されます。
3. テキスト ボックスにテキストを入力します。

テキストの書式設定

1. ［コンピレーション］ウィンドウでアイテムを選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール またはサイズ変更ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースで、テキスト ボックスをクリックし、テキスト バーを使用してテキストのプロパティを編集します。
4. 必要に応じてテキスト バーでテキストのプロパティを設定します。
   - ドロップダウン リストからフォントを選択して、テキストの書体を設定します。
   - ドロップダウン リストからフォントのサイズを選択します。テキストをテキスト ボックスのサイズに合うように自動的に調整するには、**［自動］**を選択します。
   - 必要に応じて **［太字］** **［斜体］**）、または **［影］**ボタンをクリックして、フォントの装飾のオン／オフを切り替えます。
   - 必要に応じてテキストの配置オプションを設定します。*詳しくは、**9* ページの「*テキスト バー（Alt+2）*」を参照してください。
   - テキストに赤、緑、青、およびアルファの各チャンネルを設定するためのカラー ピッカーを表示するには、選択した色見本ボタン の横にある下矢印をクリックします。

テキストの編集

1. 現在のメニュー内のテキスト ボックスを選択します。
2. **［編集］**メニューの **［テキストの編集］**を選択します（または［F2］キーを押します）。テキストが編集可能になります。
3. 必要に応じてテキストを編集します。
4. ［F2］キーを押して、テキストの変更を確定します。

テキストの移動

1. ［コンピレーション］ウィンドウでアイテムを選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースでテキストボックスを目的の位置までドラッグするか、［プロパティ］ウィンドウの **［変形］**をクリックして、**［X 位置］**ボックスおよび **［Y 位置］**ボックスに新しい位置を入力します。

テキストの削除

1. ［コンピレーション］ウィンドウでアイテムを選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースで、削除するテキスト ボックスを選択します。
4. **［編集］**メニューの **［削除］**を選択します。

ミュージック／ビデオ コンピレーションのプロパティ

［プロパティ］ウィンドウのボタン プロパティ ペインを使用して、選択したミュージック／ビデオ コンピレーションの終了時のアクションとリモート コントロール ボタンの動作を調整できます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

第 6 章 画像コンピレーションの作成

DVD Architect™ Studio ソフトウェアを使用して、画像コンピレーション プロジェクトを作成したり、画像コンピレーションをメニュー付きプロジェクトのメニューに追加することができます。

注：*DVD ディスクの各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大99 個です。Blu-ray Disc™ の各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大255 個です。*

コンピレーションに、これらの制限を超える画像が追加されている場合、プレーヤーの早送りボタンを使用すると、これらの画像に移動できます（前／次のチャプター ボタンを使用しても、DVD では最初の99 の画像内、Blu-ray Disc では最初の255 の画像内でしか移動できません）。

プロジェクトの開始とメディアの検索について詳しくは、15 ページの「概要」を参照してください。

ヒント：*スライドに画像のファイル名を自動的に挿入する場合は、画像をコンピレーションに追加する前に、***［オプション］***メニューの* **［スライド テキストの自動挿入］***オプションがオンになっていることを確認してください。スライドにテキストを表示しないようにする場合は、画像をコンピレーションに追加する前に、このオプションがオフになっていることを確認してください。画像を追加した後でこのオプションをオンまたはオフにした場合は、それ以降に追加された画像にのみこの設定が適用されます。*

メニューへの画像コンピレーションの追加

既存のメニュー付きプロジェクトのメニューに画像コンピレーションを追加する場合、手順は簡単です。

1. 画像コンピレーションにリンクするメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［挿入］**メニューの **［画像コンピレーション］**を選択します。コンピレーションへのリンクとしてボタンがメニューに追加されます。
3. 画像コンピレーションのボタンをダブルクリックして、コンピレーションの配置を開始します。

画像の追加と編集

画像の挿入

画像をコンピレーションに追加する方法はいくつかあります。

- ［エクスプローラ］ウィンドウを使用して、画像ファイルを探して選択し、［コンピレーション］ウィンドウにドラッグします。ファイルが隣接している場合は［Shift］キー、隣接していない場合は［Ctrl］キーを使用すると、一度に複数のファイルを選択できます。ファイルは、ドラッグするたびにコンピレーション リストに追加されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウを使用して、画像ファイルを探します。ファイルをダブルクリックして、［スライドショー プロパティ］ウィンドウのリストの一番下に追加します。

画像の置換

スライドの画像を置換する方法はいくつかあります。

- ［コンピレーション］ウィンドウでスライドを選択します。**［編集］**メニューの **［スライド画像］**を選択し、**［設定］**を選択します。［画像の設定］ダイアログ ボックスが表示されます。新しい画像を選択し、**［開く］**ボタンをクリックします。画像が新しい画像で置換されます。
- リスト のスライドを右クリックし、ショ ートカット メニューで **［画像の設定］**を選択します。［ 画像の設定］ダイアログ ボックスが表示されます。新しい画像を選択し 、**［開く］**ボタンをクリックします。画像が新しい画像で置換されます。
- ［エクスプローラ］ウィンドウからコンピレーション内の既存のスライドに、ファイルをドラッグします。画像がドラッグしたファイルで置換されます。

画像のストレッチ (拡大縮小) 設定

［コンピレーション］ウィンドウでは、画像を回転したり、画像を拡大縮小するときに使用するストレッチの種類を設定できます。

1. ［コンピレーション］ウィンドウで画像を選択します。
2. 画像コンピレーション プロパティ ペインの **［スライド］**ボタンをクリックします。
3. **［ストレッチの種類］**をクリックしてから下矢印ボタンをクリックし、次のいずれかのストレッチの種類を選択します。
   - **レターボックス** - 画像はスケーリングされずに表示され、必要に応じて黒のレターボックス バーが、上下または左右に追加されます。
   - **ウィンドウに合わせてズーム** - 画像はスクリーンに合わせて拡大されます。
   - **ウィンドウに合わせてストレッチ** - 画像はスクリーンに合わせてストレッチされます。

画像の回転

1. 編集する画像コンピレーションを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. ［コンピレーション］ウィンドウで画像を選択します。
3. **［反時計回りに回転］**または **［時計回りに回転］**ボタンをクリックします。

表示時間の設定

1. 編集する画像コンピレーションを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. ［コンピレーション］ウィンドウで画像を選択します。
3. 画像コンピレーション プロパティ ペインの **［スライド］**ボタンをクリックします。
4. **［長さ］**ボックスに、各スライドを表示する時間の長さを入力するか、ボタンをクリックしてから、スライダをドラッグします。

注：*バックグラウンド オーディオを追加済みで、スライドショーの長さをバックグラウンド オーディオの長さに合わせる場合は、***［コンピレーションをオーディオに合わせる］***ボタン をクリックします。オーディオの長さに基づいて、各スライドの表示時間の長さが自動的に調整されます。*

テキストの追加と編集

テキストの追加

コンピレーションの各スライドにテキストを追加できます。

注：*画像のファイル名を自動的に挿入する場合は、***［オプション］***メニューの **［スライド テキストの自動挿入］***を選択します。*

1. ［コンピレーション］ウィンドウで、テキストを追加するスライドを選択します。
2. **［挿入］**メニューの **［テキスト］**を選択します。テキスト ボックスがワークスペースに追加されます。
3. テキスト ボックスにテキストを入力します。

テキストの書式設定

1. 書式を設定するテキストが含まれる画像を選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール またはサイズ変更ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースで、テキスト ボックスをクリックし、テキスト バーを使用してテキストのプロパティを編集します。
   - ドロップダウン リストからフォントを選択して、テキストの書体を設定します。
   - ドロップダウン リストからフォントのサイズを選択します。テキストをテキスト ボックスのサイズに合うように自動的に調整するには、**［自動］** を選択します。
   - 必要に応じて **［太字］** **［斜体］**、または **［影］** ボタンをクリックして、フォントの装飾のオン／オフを切り替えます。
   - 必要に応じてテキストの配置オプションを設定します。*詳しくは、9* ページの「*テキスト バー (Alt+2)*」を参照してください。
   - テキストに赤、緑、青、およびアルファの各チャンネルを設定するためのカラー ピッカーを表示するには、選択した色見本ボタン の横にある下矢印をクリックします。

テキストの編集

1. 現在のメニュー内のテキスト ボックスを選択します。
2. **［編集］** メニューの **［テキストの編集］** を選択します（または F2 キーを押します）。テキストが編集可能になります。
3. 必要に応じてテキストを編集します。
4. ［F2］キーを押して、テキストの変更を確定します。

テキストの移動

1. 移動するテキストが含まれる画像を選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースでテキストボックスを目的の位置までドラッグするか、［プロパティ］ウィンドウの **［変形］** をクリックして、**［X 位置］** ボックスおよび **［Y 位置］** ボックスに新しい位置を入力します。

テキストの削除

1. 削除するテキストが含まれる画像を選択します。
2. 必要な場合は、編集ツールバーの選択ツール をクリックして、ツールをアクティブにします。
3. ワークスペースで、削除するテキスト ボックスを選択します。
4. **［編集］** メニューの **［削除］** を選択します。
5. グラフィックのサイズを変更するには、編集ツールバーのサイズ変更ツール をクリックし、グラフィックのハンドルをドラッグしてサイズを変更するか、グラフィック プロパティ ペインの **［変形］** ボタンをクリックして **［X サイズ］** ボックスおよび **［Y サイズ］** ボックスにグラフィックの新しいサイズを入力します。

画像コンピレーション プロパティ

［プロパティ］ウィンドウの画像コンピレーション プロパティ ペインを使用して、選択した画像コンピレーションの終了時のアクションとリモート コントロール ボタンの動作を調整できます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

第 7 章 プレイリストの作成

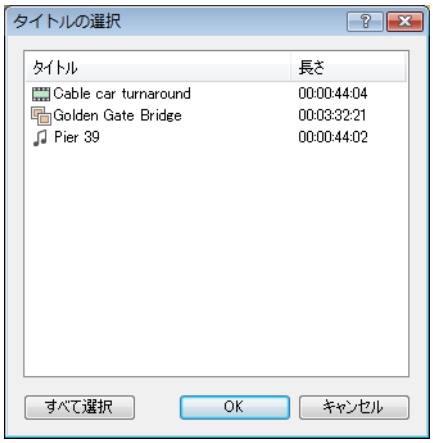
プレイリストには、ユーザが定義した一連のムービー、シーン／チャプター マーカー、ミュージック／ビデオ コンピレーション、または画像コンピレーションが含まれます。プレイリストには、プロジェクトの一部であるタイトルのみを追加できます。各タイトルは最初から最後まで再生され、プレイリストの最後では、指定された終了時のアクションに応じた処理が行われます。プレイリストによって、プロジェクトのサイズが大きくなることはありません。

注：

- *DVD プロジェクトの各プレイリストには、最大99 個のタイトルを追加でき、各タイトルには99 個のチャプターを追加できます。*
- *Blu-ray Disc プロジェクトの各プレイリストには、最大255 個のタイトルを追加でき、各タイトルには255 個のチャプターを追加できます。*

メニューへのプレイリストの追加

1. 編集するメニューを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して開きます。
2. **［挿入］**メニューの **［プレイリスト］**を選択します。［タイトルの選択］ダイアログ ボックスが表示されます。



3. ［タイトルの選択］ダイアログ ボックスで、プレイリストに追加するタイトルを選択し、**［OK］**をクリックします。プレイリストへのリンクのボタンが現在のメニューに追加されます。
4. 各タイトルが表示されるときに再生する先頭のチャプターを設定するには、プレイリスト プロパティ ペインを使用します。*詳しくは、**40* ページの「*プレイリスト プロパティ*」を参照してください。

プレイリストの追加（リンクなし）

メニューへのリンクを設定せずに、プレイリストをプロジェクトに追加できます。この方法を使用すると、初めにプレイリストを作成し、プレイリストへのリンクを設定する準備ができてから、プロジェクトにボタンを追加することができます。

1. プロジェクト概要ウィンドウのツールバーで **［オブジェクトの挿入］**ボタン（）をクリックし、**［プレイリスト］**を選択します。
2. ［タイトルの選択］ダイアログ ボックスで、プレイリストに追加するタイトルを選択し、**［OK］**をクリックします。
3. 各タイトルが表示されるときに再生する先頭のチャプターを設定するには、プレイリスト プロパティを使用します。*詳しくは、**40* ページの「*プレイリスト プロパティ*」を参照してください。

プレイリストへのタイトルの追加

1. 編集するプレイリストを、［プロジェクト概要］ウィンドウでダブルクリック（または［プレイリスト］ウィンドウの上部にあるドロップダウン リストで選択）して開きます。
2. 次の手順に従って、プレイリストにタイトルを追加します。
   a. ［プレイリスト］ウィンドウのツールバーの**［プレイリスト アイテムの挿入］**ボタン（ ）をクリックし、［タイトルの選択］ダイアログ ボックスを表示します。
   b. プレイリストに追加するタイトルを選択します。
   c. **［OK］**をクリックします。プレイリストの最後にタイトルが追加されます。
3. 各タイトルが表示されるときに再生する先頭のチャプターを設定するには、プレイリスト プロパティを使用します。*詳しくは、40 ページの「プレイリスト プロパティ」を参照してください。*

プレイリストからのタイトルの削除

1. ［プレイリスト］ウィンドウで、削除するタイトルを選択します。
2. **［編集］**メニューの **［削除］**を選択します。プレイリストからアイテムが削除されます。

プレイリストでのタイトルの再整列

［プレイリスト］ウィンドウでは、タイトルを選択してウィンドウ内の別の位置にドラッグすることで、タイトルを簡単に並び替えることができます。

プレイリスト名の変更

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウでプレイリストをクリックし、ショートカット メニューで **［名前の変更］**を選択します。
2. 編集ボックスに新しい名前を入力します。
3. **［Enter］**キーを押します。

プレイリスト プロパティ

プロパティ ウィンドウの [Playlist Properties](プレイリスト プロパティ) ペインを使用して、プレイリストの各アイテムの設定を調整したり、選択したプレイリストの終了時のアクションを設定することができます。

［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

第 8 章 本編のみのディスクまたはタイトルの作成

DVD Architect™ Studio ソフトウェアを使用して、本編のみのディスクを作成したり、ムービー本編のタイトルをメニュー付きプロジェクトのメニューに追加できます。

プロジェクトの開始とメディアの検索について詳しくは、15 ページの「概要」を参照してください。

メニューへのムービー タイトルの追加

既存のメニュー付きプロジェクトのメニューに本編のタイトルを追加する場合、手順は簡単です。

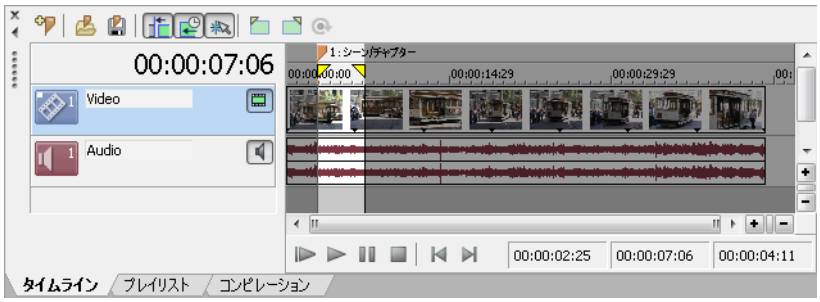
1. ［プロジェクト概要］ウィンドウのメニューをダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して、ムービーにリンクするメニューを開きます。
2. **［挿入］**メニューの**［メディア］**を選択します。［メディアの挿入］ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 使用するファイルを選択します。
4. **［OK］**をクリックします。ビデオへのリンクとしてボタンがメニューに追加されます。
5. ムービーのボタンをダブルクリックして、ビデオ ファイルを開きます。

メディア ファイルを選択した後は、［タイムライン］ウィンドウを使用して、イン ポイントとアウト ポイントを設定したり、チャプター マーカーを追加したりすることができます。

イン ポイント／アウト ポイントの設定

プロジェクトの準備処理中に、これらのポイントの間の部分のみが含まれるように、ビデオがトリミングされます。

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウでタイトルをダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して、ビデオを開きます。
2. タイムラインでビデオを開始する位置にカーソルを置きます。
3. **［イン ポイントの設定］**ボタン をクリックします。タイムラインにイン ポイントを示す黄色い三角形が表示されます。「チャプター 1」は、再生が開始される位置を表します。イン ポイントを変更すると、最初のチャプター マーカーがそのイン ポイントと一致するように更新されます。
4. タイムラインでビデオを終了する位置にカーソルを置きます。
5. **［アウト ポイントの設定］**ボタン をクリックします。タイムラインにアウト ポイントを示す黄色い三角形が表示されます。



シーン／チャプター マーカーの操作

シーン／チャプター マーカーの挿入

シーン／チャプター マーカーをビデオ ファイルに挿入して、ユーザがナビゲーション ポイントとして使用できるようにすることができます。シーン／チャプター マーカーを使用すると、ビデオの特定の位置に移動して、再生を開始できます。また、これらのマーカーを使用して、シーン選択メニューを作成したり、チャプター マーカーを終了時のアクションとリンクさせることもできます。

注：*DVD の各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大 99 個です。Blu-ray Disc™ の各タイトルに追加できるシーン／チャプター マーカーは最大 255 個です。タイトルにそれ以上のマーカーが追加されている場合、プレーヤーの早送りボタンを使用すると、これらの画像に移動できます（前／次のチャプター ボタンを使用しても、DVD では最初の 99 チャプター内、Blu-ray Disc では最初の 255 チャプター内でしか移動できません）。*

1. ［プロジェクト概要］ウィンドウでタイトルをダブルクリック（またはワークスペース内で参照）して、ビデオを開きます。
2. タイムラインでマーカーを追加する位置にカーソルを置きます。
3. **［シーン / チャプター マーカーの挿入］**ボタン をクリックします。タイムラインにチャプターを示すオレンジ色のマーカーが表示されます。

注：*各シーン／チャプター マーカーは、1 秒以上離れた位置に挿入する必要があります。*

シーン／チャプター マーカー名の変更

1. タイムライン上のマーカーを右クリックし、ショートカット メニューで **［チャプター名の変更］**を選択します。
2. 編集ボックスに新しい名前を入力します。
3. Enter キーを押します。

シーン／チャプター マーカーの再配置

シーン／チャプター マーカーの位置を変更するには、タイムライン上のマーカーを新しい位置にドラッグします。

シーン／チャプター マーカーの削除

マーカーを削除するには、タイムライン上のマーカーを右クリックし、ショートカット メニューで **［マーカーの削除］**を選択します。また、マーカー バーのタイムラインを右クリックし、ショートカット メニューで **［すべてのマーカーの削除］**を選択して、既存のすべてのマーカーをクリアすることもできます。

シーン／チャプター マーカーのロード

［マーカーのロード］ボタン をクリックして、既存のマーカーをクリアし、Sony Vegas® ソフトウェアなどのビデオ エディタで変更を加えたファイルのマーカーをロードし直すことができます。

シーン／チャプター マーカーの保存

すべてのマーカーをメディア ファイルに保存するには、**［マーカーの保存］**ボタン を使用します。マーカーを保存しない場合、マーカーの情報はプロジェクト ファイルにのみ保存されます。

ビデオ ファイルまたはオーディオ ファイルの変更

［プロパティ］ウィンドウのメディア プロパティ ペインでは、ムービーまたはムービー オブジェクトで使用されているビデオ ファイルまたはオーディオ ファイルを変更できます。

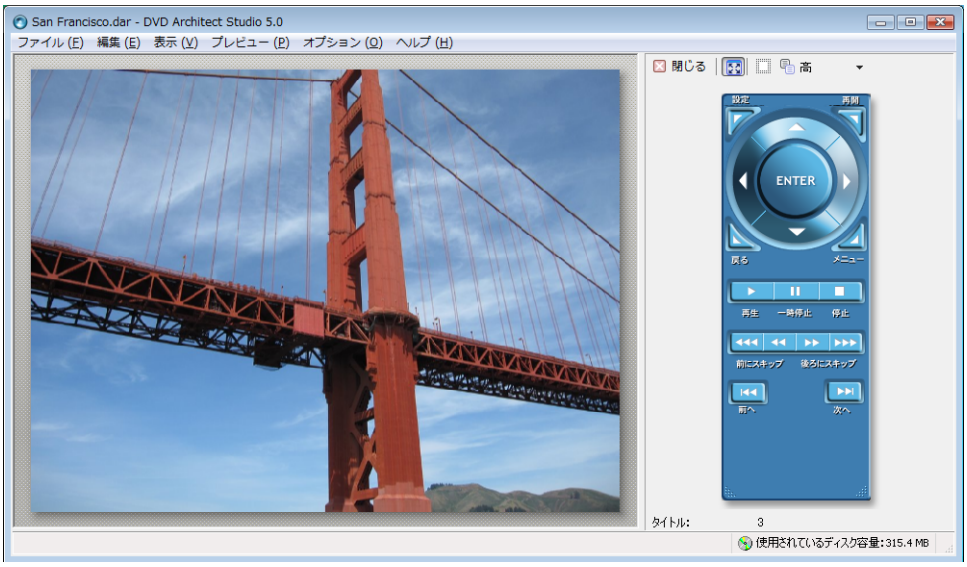
［プロパティ］ウィンドウに表示されるコントロールは、その時点での選択に応じて異なります。

第 9 章 プロジェクトのプレビュー

ディスクの準備処理を開始する前に、プロジェクトをプレビューすることができます。プレビューの最も一般的な方法は、DVD Architect™ Studio のウィンドウ内で表示する方法です。この方法では、プロジェクトがテレビ画面でどのように表示されるかや、DVD プレーヤーまたは Blu-ray Disc™ プレーヤーでどのように動作するかをシミュレートすることができます。

プレビュー ウィンドウ

プレビュー ウィンドウを使用すると、バーチャル リモート コントロールが付属したテレビのような画面で、DVD Architect Studio プロジェクトをプレビューできます。



閉じる	**プレビューを閉じる**：プレビュー ウィンドウを閉じます。
	プレビューをウィンドウに合わせてストレッチ：プレビュー表示を画面いっぱいに拡大します。
	セーフ エリアの表示：プレビュー ウィンドウ上にアクションおよびタイトルのセーフ エリアを表示します。

	クリップボードにコピー：クリップボードにコピーできます。
高	**プレビュー品質**：プレビューの品質を変更できます。

プロジェクトのプレビュー

1. プレビュー ウィンドウを表示するには、メイン ツールバーの［**プレビュー**］ボタン（ プレビュー ）の横にある下矢印をクリックして、プレビュー モードを選択します。

プレビュー モード	説明
現在のプレビュー	現在のページからプレビューを開始します。
ディスクのプレビュー	ディスクの先頭からプレビューを開始します（イントロダクション メディアを含む）。

2. ［**プレビューの品質**］ボタンを使用して、再生品質を設定します。

> **注：***お使いのコンピュータで、プロジェクトをリアルタイムでレンダリングできない場合は、品質を下げるとプレビューできるようになります。*

3. オブジェクトがタイトル セーフ エリアやアクション セーフ エリアの外側にないかどうかを確認するには、［**セーフ エリアの表示**］ボタン（ ）をクリックします。プロジェクトのプレビュー中は、タイトル セーフ エリアとアクション セーフ エリアのグリッドが表示されます。プレビュー中にクリッピングが発生した場合は、プロジェクト内で修正できます。
4. リモート コントロールのボタンを使用して、プロジェクトの操作と再生を行うことができます。
5. プレビューを終了してメイン ウィンドウに戻るには、［**閉じる**］ボタン（ 閉じる ）をクリックします。

第 10 章 プロジェクトの準備と書き込み

DVD Architect™ Studio ソフトウェアを使用したプロジェクトの作成が完了し、プレビューで満足する結果が得られたら、最終ステージ であるプロジェクトの準備と書き込みを開始できます。

DVD プロジェクトの準備と書き込み

プロジェクトの準備

準備処理中は、DVD Architect Studio ソフトウェアでは、実際に書き込み処理を開始せずに、DVD への書き込みに必要なファイルと構造を作成します。

1. **[DVD の作成]** ボタン（）をクリックします。[DVD の作成] ウィザードが表示されます。

2. **[準備]** ボタンをクリックします。[DVD の作成 - 準備用フォルダの選択] ページが表示されます。
3. **[準備用フォルダ]** ボックスにプロジェクトを準備するフォルダのパスを入力するか、**[参照]** をクリックしてフォルダを選択します。

> **注：***空のフォルダか、以前に準備用フォルダとして使用したことのあるフォルダのみを使用できます。*

4. 以前に準備したプロジェクトがある場合は、[スマート プリペア] セクションに、そのプロジェクトの変更されていない（再利用可能な）部分の推定割合が表示されます。スマート プリペア機能をオフにしてプロジェクト全体の準備を行う場合は、以下の手順に従います。
   a. **[詳細]** ボタンをクリックします。[スマート プリペア オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
   b. **[スマート プリペアを有効にする]** チェックボックスをオフにします。
   c. **[OK]** をクリックして続行します。

> **ヒント：***プロジェクトを部分的に編集する必要がある場合は、スマート プリペア テクノロジを利用することによって、プロジェクトの準備にかかる時間を大幅に短縮できます。プロジェクトを再度準備するときは、変更が必要なプロジェクトの一部のみを準備するだけです。*

5. **[次へ]** をクリックします。

6. プロジェクト内のファイルが分析され、書き込みできる状態かどうかや、メッセージ リストに結果が表示されているかが確認されます。また、プロジェクトの最終的なサイズを確認することもできます。

   a. メッセージを確認して、必要な調整を行います。

メッセージの種類	説明
情報	DVD は正常に作成されます。対処は必要ありません。
警告	DVD は正常に作成されます。対処は必要ありません。
エラー	DVD は正常に作成できません。問題を解決する必要があります。

   b. **[最適化]** ボタンをクリックすると、[ディスクの最適化] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスで、個々のメディア ファイルとプロジェクトの設定を変更できます（警告やエラーの多くは、このダイアログ ボックスで解決できます）。*詳しくは、18 ページの「プロジェクトの最適化」を参照してください。*

7. **[次へ]** ボタンをクリックします。
8. プロジェクト内のメニューのハイライト マスクのファイルが分析され、書き込みできる状態かどうかや、メッセージ リストに結果が表示されているかが確認されます。メッセージを確認して、必要な調整を行います。
9. **[完了]** ボタンをクリックします。指定したフォルダにプロジェクトがレンダリングされます。
10. 準備が完了したことを示すダイアログ ボックスが表示されるので、**[OK]** をクリックして続行します。

準備したプロジェクトの書き込み

書き込み処理中は、準備が完了している既存のプロジェクトがディスクに書き込まれます。*書き込み前のプロジェクトの準備について詳しくは、45 ページの「プロジェクトの準備」を参照してください。*

1. **[DVD の作成]** ボタン（ ）をクリックします。[DVD の作成] ウィザードが表示されます。
2. **[書き込み]** ボタンをクリックします。
3. [準備フォルダの選択] ページで、プロジェクトの準備に使用する場所、または書き込みを行う準備済みのプロジェクトの場所を選択します。

> **注：***空のフォルダか、以前に準備用フォルダとして使用したことのあるフォルダのみを使用できます。*

4. **[次へ]** ボタンをクリックします。
5. 手順 3 で **[現在のプロジェクト]** を選択した場合は、[メッセージ リストの確認] ページに、プロジェクトに関するメッセージのリストと、プロジェクトの最終的な推定サイズが表示されます。

   a. メッセージを確認して、必要な調整を行います。

メッセージの種類	説明
情報	DVD は正常に作成されます。対処は必要ありません。
警告	DVD は正常に作成されます。対処は必要ありません。
エラー	DVD は正常に作成できません。問題を解決する必要があります。

   b. **[最適化]** ボタンをクリックすると、[ディスクの最適化] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスで、個々のメディア ファイルとプロジェクトの設定を変更できます（警告やエラーの多くは、このダイアログ ボックスで解決できます）。*詳しくは、18 ページの「プロジェクトの最適化」を参照してください。*

6. **[次へ]** ボタンをクリックします。

7. 書き込み設定を選択します。
   a. **［ボリューム名］**ボックスにディスクの名前を入力します。
   b. **［デバイス］**ドロップダウン リストから、DVD 書き込みドライブまたは **［ISO イメージ ライタ］**を選択します。
   c. 以下のいずれかの操作を行います。

選択肢	次の操作
DVD 書き込みドライブを選択した場合	**［速度］**ドロップダウン リストから、書き込み速度を選択します。
［ISO イメージ ライタ］を選択した場合	**［ファイル名］**フィールドで、**［参照］**ボタン（…）をクリックし、ファイルを保存する場所を参照します。

   d. -RW ディスクを使用している場合は、**［消去モード］**のいずれかを選択して、書き込む前にディスクを消去します。

オプション	説明
消去しない	ディスクの内容は消去されません。
高速消去	TOC（目次）のみを消去します。
完全消去	ディスクからすべてのデータを消去します。

   e. プロジェクトを書き込む場合は**［DVD の書き込み］**を選択します。バーナーのレーザーを有効にせずに、書き込みテストを実行する場合は**［テストのみ］**を選択します。
8. **［完了］**ボタンをクリックして、書き込みを開始します。
9. 2 層のディスクを準備している場合は、［レイヤー ブレーク動作の選択］ページが表示され、レイヤー ブレイクを選択するか、自動的に選択されるようにするかを選択できます。
   a. 以下のいずれかのオプションを選択します。

オプション	説明
レイヤー ブレーク ポイントを自動的に選択する	ソフトウェアによって自動的にレイヤー ブレークが選択されます。
レイヤー ブレークをタイトル内に配置する場合にのみレイヤー ブレーク ポイントの選択を確認する	プロジェクトの準備後、ブレーク ポイントをタイトルの先頭に配置できない場合は、書き込みプロセスが自動的に中断され、レイヤー ブレーク ポイントの選択を求めるメッセージが表示されます。
レイヤー ブレーク ポイントの選択を確認する	プロジェクトの準備後、書き込みプロセスが自動的に中断され、レイヤー ブレーク ポイントの選択を求めるメッセージが表示されます。

   b. **［完了］**ボタンをクリックします。DVD Architect Studio ソフトウェアによってプロジェクトの準備が実行されます。
10. 準備済みのプロジェクトを 2 層のディスクに書き込む場合は、［レイヤー ブレークの選択］ページが表示されるので、このページでレイヤー ブレイク ポイントを設定します。

注：

- *選択したレイヤー ブレークより後にあるすべてのメディアは、2 層目に配置されます。*
- *手順9 で* ***［レイヤー ブレーク ポイントを自動的に選択する］*** *を選択しなかった場合、または適切なレイヤー ブレイク ポイントが検出できなかった場合にのみ、［レイヤー ブレークの選択］ページが表示されます。*

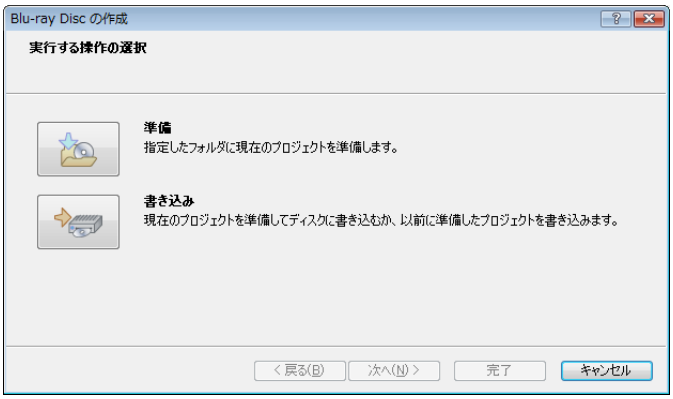
   a. ページの上部で、適切なレイヤー ブレイク ポイントと、使用可能なすべてのレイヤー ブレイク ポイントのどちらを表示するかをドロップダウン リストから選択します。ブレーク ポイントはタイトル内のチャプターによって決定されます。
      - 優先レイヤー ブレーク ポイントはタイトルの先頭にあります。これらのチャプター マーカーは、DVD プレーヤーが層を変更するときに再生が途切れて見えないようにするために、優先して使用されます。
      - 使用できる優先レイヤー ポイントがない場合は、使用可能なすべてのレイヤー ブレーク ポイントを表示するように選択できます。優先ブレーク ポイント以外のポイントを選択すると、DVD プレーヤーが層を変更するときに再生が途切れて見える可能性があります。
      - 使用できるレイヤー ポイントがない場合は、ウィザードを閉じて、手動でチャプター マーカーを追加できます。ウィザードでは、推奨されるタイトルと位置が表示されます。
      - 使用できるレイヤー ブレーク ポイントが適切な位置にない場合は、［プロジェクト概要］ウィンドウでタイトルを並べ替えてみてください。タイトルの順序を変更することによって、より適切な場所にレイヤー ブレークを設定できる場合があります。
   b. 使用するレイヤー ブレイク ポイントを選択します。
11. 別のディスクの書き込みを行うかどうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。

Blu-ray Disc の準備と書き込み

Blu-ray Disc プロジェクトの準備

準備処理中は、DVD Architect Studio ソフトウェアでは、実際に書き込み処理を開始せずに、プロジェクトへの書き込みに必要なファイルと構造を作成します。

1. **［Blu-ray Disc ディスクの作成］**ボタン（ ）をクリックします。Blu-ray Disc の作成ウィザードが表示されます。



2. **［準備］**ボタンをクリックします。［イメージの選択］ページが表示されます。
3. **［イメージの準備］**ボックスにプロジェクトを準備するイメージ ファイル（.iso）のパスを入力するか、**［参照］**をクリックして場所を選択します。
4. **［次へ］**をクリックします。
5. プロジェクト内のファイルが分析され、書き込みできる状態かどうかや、メッセージ リストに結果が表示されているかが確認されます。また、プロジェクトの最終的なサイズを確認することもできます。
   a. メッセージを確認して、必要な調整を行います。

メッセージの種類	説明
情報	ディスクは正常に作成されます。対処は必要ありません。
警告	ディスクは正常に作成されます。対処は必要ありません。
エラー	ディスクは正常に作成できません。問題を解決する必要があります。

   b. **［最適化］**ボタンをクリックすると、［ディスクの最適化］ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスで、個々のメディア ファイルとプロジェクトの設定を変更できます（警告やエラーの多くは、このダイアログ ボックスで解決できます）。*詳しくは、18 ページの「プロジェクトの最適化」を参照してください。*
6. **［完了］**ボタンをクリックします。プロジェクトが、指定したフォルダにイメージ ファイル（.iso）として準備されます。

   準備が完了したことを示すダイアログ ボックスが表示されるので、**［OK］**をクリックして続行します。

Blu-ray Disc プロジェクトの書き込み

DVD Architect Studio では、現在のプロジェクトまたは以前に準備したプロジェクトを書き込むことができます。*書き込み前のプロジェクトの準備について詳しくは、**48* ページの「*Blu-ray Disc プロジェクトの準備*」を参照してください。

1. **［Blu-ray Disc ディスクの作成］**ボタン（）をクリックします。Blu-ray Disc の作成ウィザードが表示されます。
2. **［書き込み］**ボタンをクリックします。［イメージの選択］ページが表示されます。
3. プロジェクトを準備する場所、または書き込みを行う準備済みのイメージが保存されている場所を選択します。

オプション	説明
現在のプロジェクト	**［現在のプロジェクト］**を選択し、プロジェクトを準備するフォルダへのパスを**［イメージの準備 / 書き込み］**ボックスに入力します（または**［参照］**をクリックしてフォルダを選択します）。
以前に準備されたイメージ	**［以前に準備されたイメージ］**を選択し、準備済みプロジェクトが保存されているフォルダへのパスを**［イメージの準備 / 書き込み］**ボックスに入力します（または**［参照］**をクリックしてフォルダを選択します）。

4. **［次へ］**ボタンをクリックします。
5. 手順 3 で**［現在のプロジェクト］**を選択した場合は、［メッセージ リストの確認］ページに、プロジェクトに関するメッセージのリストと、プロジェクトの最終的な推定サイズが表示されます。
   a. メッセージを確認して、必要な調整を行います。

メッセージの種類	説明
情報	ディスクは正常に作成されます。対処は必要ありません。
警告	ディスクは正常に作成されます。対処は必要ありません。
エラー	ディスクは正常に作成できません。問題を解決する必要があります。

   b. **［最適化］**ボタンをクリックすると、［ディスクの最適化］ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスで、個々のメディア ファイルとプロジェクトの設定を変更できます（警告やエラーの多くは、このダイアログ ボックスで解決できます）。*詳しくは、**18* ページの*「プロジェクトの最適化」を参照してください。*
   c. **［次へ］**ボタンをクリックします。
6. 書き込みパラメータを選択します。
   a. **［デバイス］**ドロップダウン リストから、Blu-ray Disc 書き込みドライブを選択します。
   b. **［速度］**ドロップダウン リストから、書き込み速度を選択します。
   c. ［ドライブ情報］、［メディア情報］、［ラベル］の各タブの**［詳細］**ボタンを選択します。［ドライブ情報］には、ディスクを書き込むドライブの情報が表示されます。［メディア情報］には、書き込みドライブに現在挿入されているメディアの種類の情報が表示されます。［ラベル］タブには、ボリューム名、ボリューム セット名、およびアプリケーション ID の情報が表示されます。これらの情報は、必要に応じて調整できます。
7. **［完了］**ボタンをクリックして、書き込みを開始します。
8. 別のディスクの書き込みを行うかどうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。
   - 別のコピーを作成する場合は、**［はい］**をクリックします。［Blu-ray Disc の作成 - 書き込みパラメータの選択］ページが表示され、Blue-ray Disc の作成処理が開始されます。
   - プロジェクトのコピーの作成を終了する場合は、**［いいえ］**をクリックします。

キーワード

記号・英数字

Blu-ray Disc
書き込み，49
準備，48
Blu-ray Disc プロジェクトの書き込み，49
DVD
書き込み，46
画像コンピレーション，35
最適化，18
準備，45
プレイリスト，39
本編のみ，41
ミュージック／ビデオ コンピレーション，31
メニュー付き，21
DVD Architect Studio ソフトウェアのインストール，5
Sony の Web サイト，6
Web サイト，6

あ行

アウト ポイント、設定，41
アクション セーフ エリア，27
移動
オブジェクト，25
画像コンピレーション内のテキスト，37
ミュージック／ビデオ コンピレーション内のテキスト，34
メニューのテキスト，23
イントロダクション メディア，17
イン ポイント、設定，41
ウィンドウ
［エクスプローラ］ウィンドウ，10
［コンピレーション］ウィンドウ，11
［タイムライン］ウィンドウ，13
［テーマ］ウィンドウ，10
［背景］ウィンドウ，11
［プレイリスト］ウィンドウ，13
［プロジェクト概要］ウィンドウ，8
［プロパティ］ウィンドウ，12
［ボタン］ウィンドウ，11
ウィンドウ ドッキング エリア，10–13
［エクスプローラ］ウィンドウ，10
オーディオ ファイル
ミュージック／ビデオ コンピレーションでの置換，32
ミュージック／ビデオ コンピレーションへの追加，32
オーディオ プロパティ，42
オブジェクト
移動，25
間隔の調整，26
グリッドへのスナップ，27
サイズの変更，25
削除，26
整列，25, 26
セーフ エリアへのスナップ，27
高さと幅を揃える，25
中央揃え，26
編集，25
他のオブジェクトへのスナップ，27
オブジェクトのサイズの変更，25
オブジェクト間隔の調整，26
オブジェクトの整列，25, 26
オブジェクトの中央揃え，26
オブジェクトの編集
サイズの変更，25
高さと幅を揃える，25
オンライン ヘルプ，6

か行

書き込み
Blu-ray Disc，49
DVD，46
プロジェクト，46
カラー セット
適用，24
編集，24
カラー セットの編集，24
間隔、調整，26
画像
画像コンピレーションでのストレッチの種類，36
画像コンピレーション内での回転，36
画像コンピレーション内での拡大縮小，36
画像コンピレーション内での置換，36
画像コンピレーションへの追加，35
ミュージック／ビデオ コンピレーションでの置換，33
ミュージック／ビデオ コンピレーションでの拡大縮小，33
ミュージック／ビデオ コンピレーションでのストレッチの種類，33
ミュージック／ビデオ コンピレーション内での回転，33
ミュージック／ビデオ コンピレーションへの挿入，32
画像コンピレーション
画像の回転，36
画像の拡大縮小，36
画像のストレッチ，36
画像の置換，36
画像の追加，35
テキストの移動，37
テキストの削除，37
テキストの書式設定，37
テキストの編集，37
表示時間の設定，36
プロパティ，37
メニューへの追加，22, 35

画像コンピレーションへ
テキストの追加，37
画像の回転
画像コンピレーション内，36
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，33
画像の拡大縮小
画像コンピレーション内，36
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，33
画像のストレッチ
画像コンピレーション内，36
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，33
画像の置換
画像コンピレーション内，36
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，33
グラフィック
プロパティ，23
メニューへの挿入，22
グリッド、スナップ，27
コンピレーション。「ミュージック／ビデオ コンピレーション」、「画像コンピレーション」を参照
［コンピレーション］ウィンドウ，11

さ行

再圧縮，18
最初に再生されるメディア。「イントロダクション メディア」を参照
削除
オブジェクト，26
画像コンピレーション内のテキスト，37
シーン／チャプター マーカー，42
テーマ，29
プレイリスト内のタイトル，40
ページ，21
ミュージック／ビデオ コンピレーション内のテキスト，34
サブメニュー、追加，21
シーン／チャプター マーカー
再配置，42
削除，42
挿入，42
名前の変更，42
保存，42
ロード，42
シーン／チャプター マーカーのロード，42
新規プロジェクト，16
準備
Blu-ray Disc，48
Blu-ray Disc プロジェクト，48
DVD，45
DVD Architect Studio ソフトウェアのメディア ファイル，15
プロジェクト，45
スナップ
グリッド，27
セーフ エリアへの，27
他のオブジェクト，27
セーフ エリア
表示，27
へのスナップ，27
設定
イン ポイントとアウト ポイント，41
ディスク イントロダクション メディア，17
ディスク スタート アイテム，17
操作手順チュートリアル，6
挿入
シーン／チャプター マーカー，42
ボタン，24
ミュージック／ビデオ コンピレーション内の画像，32
メニューへのグラフィックの挿入，22
メニューまたはページへのテキストの挿入，23
属性のコピー，27
属性の貼り付け，27

た行

タイトル
プレイリストからの削除，40
メニューへの追加，22
タイトル セーフ エリア，27
［タイムライン］ウィンドウ，13
チュートリアル，6
追加
画像コンピレーションへの画像の追加，35
画像コンピレーションへのテキストの追加，37
サブメニュー，21
プロジェクトへのメディア ファイルの追加，17
ページ，21
ミュージック／ビデオ コンピレーションへのオーディオの追加，32
ミュージック／ビデオ コンピレーションへのテキストの追加，33
ミュージック／ビデオ コンピレーションへのビデオの追加，32
メニューへの本編のみのムービー タイトルの追加，22
メニューへのミュージック／ビデオ コンピレーションの追加，22
ツールバー
テキスト バー，9
編集ツールバー，9
メイン ツールバー，8
テーマ
削除，29
選択，29
適用，28
［テーマ］ウィンドウ，10
テキスト
画像コンピレーションからの削除，37
画像コンピレーション内での移動，37
画像コンピレーション内での書式設定，37
画像コンピレーション内での編集，37
画像コンピレーションへの追加，37

ミュージック／ビデオ コンピレーション
から削除，34
ミュージック／ビデオ コンピレーション
での移動，34
ミュージック／ビデオ コンピレーション
での書式設定，33
ミュージック／ビデオ コンピレーション
での編集，34
ミュージック／ビデオ コンピレーション
への追加，33
メニューでの書式設定，23
メニュー内での移動，23
メニュー内での編集，23
メニューまたはページへの挿入，23
テキスト バー，9
テキストの編集
メニュー内，23
テキストの書式設定
画像コンピレーション内，37
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，33
メニュー内，23
テキストの編集
画像コンピレーション内，37
ミュージック／ビデオ コンピレーション内，34
適用
カラー セット，24
テーマ，28
ディスク
イントロダクション メディアの設定，17
スタート アイテムの設定，17
動作環境，5

な行

ナビゲーション ツール，28

は行

［背景］ウィンドウ，11
ビデオ コンピレーション。「ミュージック／ビデオ コンピレーション」を参照
ビデオ プロパティ，42
ファイル。「メディア ファイル」を参照
プレイリスト，39
タイトルの再整列，40
タイトルの削除，40
タイトルの追加，40
名前の変更，40
プロパティ，40
メニューへの追加，39
メニューへのリンク設定なしの追加，39
［プレイリスト］ウィンドウ，13
プレイリスト名の変更，40
プレビュー
プロジェクト，43
メディア ファイル，17
プロジェクト
Blu-ray Disc プロジェクトの書き込み，49
Blu-ray Disc プロジェクトの準備，48
書き込み，46
最適化，18
新規の開始，16
準備，45
開く，16
ファイルの追加，17
プレビュー，43
プロパティ，18
保存，19
［プロジェクト概要］ウィンドウ，8
プロジェクトの最適化，18
プロジェクトを開く，16
プロパティ
オーディオ，42
画像コンピレーション，37
グラフィック，23
ビデオ，42
プレイリスト，40
プロジェクト，18
ボタン，27
ミュージック／ビデオ コンピレーション，34
メディア，42
メニュー ページ，22
［プロパティ］ウィンドウ，12
編集ツールバー，9
ページ
削除，21
追加，21
テキストの挿入，23
ボタンの挿入，24
保存
シーン／チャプター マーカー，42
プロジェクト，19
本編のみのムービー タイトル
イン ポイント／アウト ポイントの設定，41
シーン／チャプター マーカー，42
ビデオ ファイルまたはオーディオ ファイルの変更，42
メニューへの追加，22, 41
ボタン
挿入，24
ナビゲーション ツール，28
プロパティ，27
［ボタン］ウィンドウ，11

ま行

ミュージック／ビデオ コンピレーション
ビデオの追加，32
メニューへの追加，22
オーディオの追加，32
オーディオ ファイルの置換，32
画像の回転，33

画像の拡大縮小，33
画像のストレッチ，33
画像の挿入，32
画像の置換，33
テキストの移動，34
テキストの削除，34
テキストの書式設定，33
テキストの追加，33
テキストの編集，34
プロパティ，34
メニューへの追加，31
ミュージック／ビデオ コンピレーションでのオーディオ
ファイルの置換，32
メイン ウィンドウ
概要，7
コンポーネント，7
ツールバー，8
メイン ツールバー，8
メディア ファイル
DVD Architect Studio ソフトウェア用の準備，15
イントロダクション メディア，17
再圧縮，18
プレビュー，17
プロジェクトへの追加，17
メディア プロパティ，42
メニュー
オブジェクトの移動，25
オブジェクトの整列，25, 26
オブジェクトの編集，25
カラー セット，24
画像コンピレーションの挿入，22
グラフィックの挿入，22
サブ メニューの追加，21
属性のコピー，27
属性の貼り付け，27
タイトルの追加，22
テーマの適用，28
テキストオブジェクトの設定，23
テキストの書式設定，23
テキストの挿入，23
テキストの編集，23
ナビゲーション ツール，28
プロパティ，22
ページの削除，21
ページの順序の変更，22
ページの追加，21
本編のみのムービー タイトルの追加，22
ボタンの挿入，24
ボタン プロパティ，27
ミュージック／ビデオ コンピレーションの追加，22
メディア プロパティ，25
メニュー ページ プロパティ，22
メニュー付き DVD
画像コンピレーションの追加，35
プレイリストの追加，39
本編のみのムービー タイトルの追加，41
ミュージック／ビデオ コンピレーションの追加，31

わ行

ワークスペース，9